

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

THIS PAGE BLANK (USPTO)

PCT/JP00/06072

06.11.00

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

REC'D 22 DEC 2000

WIPO PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

JP00/6072

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 4月27日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-126884

出 願 人
Applicant(s):

株式会社ビートゥーシー・インタフェイス

EKV

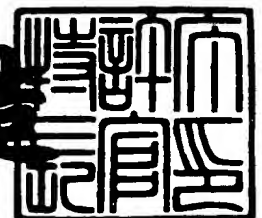
PRIORITY
DOCUMENT

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2000年12月 8日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3101519

【書類名】 特許願
 【整理番号】 BC-0003
 【提出日】 平成12年 4月27日
 【あて先】 特許庁長官 殿
 【国際特許分類】 H04L29/00
 【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区麻布十番1丁目7番3号 株式会社ビートゥーシー・インタフェイス内

【氏名】 山下 哲矢

【特許出願人】

【識別番号】 599160158

【氏名又は名称】 株式会社ビートゥーシー・インタフェイス

【代理人】

【識別番号】 100105924

【弁理士】

【氏名又は名称】 森下 賢樹

【電話番号】 0422-23-7415

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 平成11年特許願第323395号

【出願日】 平成11年11月12日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 091329

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【物件名】 委任状 1

【援用の表示】 平成12年4月26日付提出の包括委任状

【ブルーフの要否】

要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 スケジュール通信方法、装置およびシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザの前記スケジュールを受信するステップと

前記ネットワークを介して前記ユーザの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、

前記広告の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項2】 前記スケジュールを受信するステップ、前記広告を受信するステップの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的な実施される請求項1に記載の方法。

【請求項3】 前記ユーザを個人として認証するための情報を送信するステップをさらに含む請求項1、2のいずれかに記載の方法。

【請求項4】 前記ユーザをグループの一員として認証するための情報を送信するステップをさらに含む請求項1から3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】 前記ネットワークを介して前記ユーザが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求項1から4のいずれかに記載の方法。

【請求項6】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で送信される請求項5に記載の方法。

【請求項7】 前記アンケートは、それに回答したユーザに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項6に記載の方法。

【請求項8】 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介して

アクセスするステップをさらに含む請求項 1 から 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記広告が選択される請求項 8、9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 11】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記広告が選択される請求項 8 から 10 のいずれかに記載の方法。

【請求項 12】 前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップをさらに含む請求項 2 から 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 13】 前記求人情報は予め選抜されたユーザーのみが受信可能に構成される請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】 前記ネットワークを介して前記ユーザーが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 13 から 15 のいずれかに記載の方法。

【請求項 17】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 16 に記載の方法。

【請求項 19】 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするステップをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 13 から 18 のいずれかに記載の方法。

【請求項 20】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する応答を送信するステップをさらに含む請求項 12 から 20 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 2】 前記告知するステップは、前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示の中に、前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示の中に、前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示の中に、それぞれ前記広告を組み込む請求項 1 から 2 1 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 3】 前記ユーザーのスケジュールを登録するステップをさらに含む請求項 1 から 2 2 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 4】 前記登録するステップ、前記スケジュールを受信するスケジュールの少なくとも一方の実施に伴い、前記広告を受信するステップが実施される請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 5】 前記告知するステップは、音声による通知のステップを含む請求項 1 から 2 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 6】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと、

前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、

前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 2 7】 前記スケジュールを受信するステップ、前記求人情報を受信するステップの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的に実施される請求項 2 6 に記載の方法。

【請求項 2 8】 前記ユーザーを個人として認証するための情報を送信するステップをさらに含む請求項 2 6、2 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 2 9】 前記ユーザーをグループの一員として認証するための情報を送信するステップをさらに含む請求項 2 6 から 2 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 3 0】 前記求人情報は予め選抜されたユーザーのみが受信可能に

構成される請求項 26 から 29 のいずれかに記載の方法。

【請求項 31】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 30 に記載の方法。

【請求項 32】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 31 に記載の方法。

【請求項 33】 前記ネットワークを介して前記ユーザーが個人情報を送信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 30 から 32 のいずれかに記載の方法。

【請求項 34】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 33 に記載の方法。

【請求項 35】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 33 に記載の方法。

【請求項 36】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で送信される請求項 33 から 35 のいずれかに記載の方法。

【請求項 37】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項 36 に記載の方法。

【請求項 38】 前記求人情報の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするステップをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 26 から 37 のいずれかに記載の方法。

【請求項 39】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 38 に記載の方法。

【請求項 40】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 38、39 のいずれかに記載の方法。

【請求項 41】 当該方法は前記ネットワークを介して広告を受信するステップをさらに含み、

前記判定するステップはさらに、前記広告の目的時刻を判定し、

前記告知するステップはさらに、前記スケジュールと前記広告を前記目的時刻

によって関連づけて前記ユーザーに告知する請求項 26 から 33 のいずれかに記載の方法。

【請求項 42】 前記広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするステップをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 41 に記載の方法。

【請求項 43】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 42 に記載の方法。

【請求項 44】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 42、43 のいずれかに記載の方法。

【請求項 45】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する応答を送信するステップをさらに含む請求項 26 から 44 のいずれかに記載の方法。

【請求項 46】 前記告知するステップは、前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示と、前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示と、前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示と、それぞれ前記求人情報を関連づける請求項 26 から 45 のいずれかに記載の方法。

【請求項 47】 前記ユーザーのスケジュールを登録するステップをさらに含む請求項 26 から 46 のいずれかに記載の方法。

【請求項 48】 前記登録するステップ、前記スケジュールを受信するスケジュールの少なくとも一方の実施に伴い、前記求人情報を受信するステップが実施される請求項 47 に記載の方法。

【請求項 49】 前記告知するステップは、音声による通知のステップを含む請求項 26 から 48 のいずれかに記載の方法。

【請求項 50】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザーに前記スケジュールを送信するステップと

前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するステップと、

前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目

的時刻を付加して前記ユーザーに送信するステップと、
を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 51】 前記ユーザーを個人として認証するステップをさらに含む請求項 50 に記載の方法。

【請求項 52】 前記ユーザーをグループの一員として認証するステップをさらに含む請求項 50、51 のいずれかに記載の方法。

【請求項 53】 前記ユーザーの個人情報を受信するステップをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求項 50 から 52 のいずれかに記載の方法。

【請求項 54】 前記ネットワークを介してアンケートを提供するステップと、

前記個人情報をそのアンケートに対する回答の形で受信するステップとをさらに含む請求項 53 に記載の方法。

【請求項 55】 前記アンケートを、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットを与える形で提供する請求項 54 に記載の方法。

【請求項 56】 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をするステップをさらに含む請求項 50 から 55 のいずれかに記載の方法。

【請求項 57】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項 56 に記載の方法。

【請求項 58】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記広告が選択される請求項 56、57 のいずれかに記載の方法。

【請求項 59】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記広告が選択される請求項 56 から 58 のいずれかに記載の方法。

【請求項 60】 前記送信された広告の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求項 50 から 59 のいずれかに記載の方法。

【請求項 61】 前記ネットワークを介して求人情報を送信するステップをさらに含む請求項 50 から 52 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6 2】 前記求人情報を送付すべきユーザーを予め選抜するステップをさらに含む請求項 6 1 に記載の方法。

【請求項 6 3】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 6 2 に記載の方法。

【請求項 6 4】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 6 3 に記載の方法。

【請求項 6 5】 前記ネットワークを介して前記ユーザーの個人情報を受信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 6 2 から 6 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6 6】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 6 5 に記載の方法。

【請求項 6 7】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 6 5 に記載の方法。

【請求項 6 8】 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をするステップをさらに含み、前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項 6 2 から 6 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6 9】 前記求人情報に対する前記ユーザーの応答を受信するステップをさらに含む請求項 6 1 から 6 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7 0】 前記ユーザーのスケジュールを登録するステップをさらに含む請求項 5 0 から 6 9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7 1】 前記登録するステップの実施に伴い、前記広告を送信するステップが実施される請求項 7 0 に記載の方法。

【請求項 7 2】 前記送信された求人情報の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求項 6 1 から 7 1 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7 3】 前記選択するステップは、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択することに代えて、前記広告に嗜好が適するユーザーを選択し、

前記選択されたユーザーに前記広告が送信されることを特徴とする請求項 5 0 から 7 2 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7 4】 前記選択されたユーザーの数に応じた課金情報を生成する

ステップをさらに含む請求項 73 に記載の方法。

【請求項 75】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記ネットワークを介してユーザーに前記スケジュールを送信するステップと

前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するステップと、

前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 76】 前記ユーザーを個人として認証するステップをさらに含む請求項 75 に記載の方法。

【請求項 77】 前記ユーザーをグループの一員として認証するステップをさらに含む請求項 75、76 のいずれかに記載の方法。

【請求項 78】 前記求人情報を送信すべきユーザーを予め選抜するステップをさらに含む請求項 75 から 77 のいずれかに記載の方法。

【請求項 79】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項 78 に記載の方法。

【請求項 80】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項 79 に記載の方法。

【請求項 81】 前記ユーザーの個人情報を受信するステップをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 78 から 80 のいずれかに記載の方法。

【請求項 82】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項 81 に記載の方法。

【請求項 83】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項 81 に記載の方法。

【請求項 84】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で送信される請求項 81 から 83 のいずれかに記載の方法。

【請求項 85】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項 84 に記載の方法。

【請求項 86】 前記求人情報の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をするステップをさらに含み、前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項 78 から 85 のいずれかに記載の方法。

【請求項 87】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 86 に記載の方法。

【請求項 88】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 86、87 のいずれかに記載の方法。

【請求項 89】 前記送信された求人情報の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求項 75 から 88 のいずれかに記載の方法。

【請求項 90】 前記スケジュールと関連づけられるべき広告を取得するステップをさらに含み、

前記求人情報を送信するステップはさらに、前記ネットワークを介して前記広告を送信する請求項 75 から 88 のいずれかに記載の方法。

【請求項 91】 前記広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をするステップをさらに含み、前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項 90 に記載の方法。

【請求項 92】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 91 に記載の方法。

【請求項 93】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 91、92 のいずれかに記載の方法。

【請求項 94】 前記送信された広告の数に応じた課金情報を生成するステップをさらに含む請求項 90 から 93 のいずれかに記載の方法。

【請求項 95】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する前記ユーザーの応答を取得するステップをさらに含む請求項 75 から 93 のいずれかに記載の方法。

【請求項 96】 前記ユーザーのスケジュールを登録するステップをさらに

含む請求項 75 から 95 のいずれかに記載の方法。

【請求項 97】 前記登録するステップの実施に伴い、前記求人情報を送信するステップが実施される請求項 96 に記載の方法。

【請求項 98】 サーバとユーザー側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記サーバが前記ユーザーにスケジュールを送信するステップと、

前記ユーザー側にて前記スケジュールを受信するステップと、

前記サーバが前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するステップと、

前記サーバが前記選択した広告を前記ユーザーに送信するステップと、

前記ユーザー側にて前記広告の目的時刻を判定するステップと、

前記ユーザー側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 99】 サーバとユーザー側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法であって、

前記サーバが前記ユーザーにスケジュールを送信するステップと、

前記ユーザー側にて前記スケジュールを受信するステップと、

前記サーバが前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するステップと、

前記サーバが前記選択した求人情報を前記ユーザーに送信するステップと、

前記ユーザー側にて前記求人情報を受信するステップと、

前記ユーザー側にて前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、

前記ユーザー側にて前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信方法。

【請求項 100】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを取得するユニットと

前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広

告を取得するユニットと、

前記広告の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

【請求項101】 前記スケジュールを取得するユニット、前記広告を取得するユニットの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的に取得処理を行う請求項100に記載の装置。

【請求項102】 前記ユーザーを個人として認証するための情報を入力するユニットをさらに含む請求項100、101のいずれかに記載の装置。

【請求項103】 前記ユーザーをグループの一員として認証するための情報を入力するユニットをさらに含む請求項100から102のいずれかに記載の装置。

【請求項104】 前記ユーザーが個人情報を入力するユニットをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求項100から103のいずれかに記載の装置。

【請求項105】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で入力される請求項104に記載の装置。

【請求項106】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項105に記載の装置。

【請求項107】 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするユニットをさらに含む請求項100から106のいずれかに記載の装置。

【請求項108】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項107に記載の装置。

【請求項109】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記広告が選択される請求項107、108のいずれかに記載の装置。

【請求項110】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記広告が選択さ

れる請求項107から109のいずれかに記載の装置。

【請求項111】 前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットをさらに含む請求項101から103のいずれかに記載の装置。

【請求項112】 前記求人情報は予め選抜されたユーザーのみが受信可能に構成される請求項111に記載の装置。

【請求項113】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合するユーザーが選抜される請求項112に記載の装置。

【請求項114】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項113に記載の装置。

【請求項115】 前記ユーザーが個人情報を入力するユニットをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項112から114のいずれかに記載の装置。

【請求項116】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項115に記載の装置。

【請求項117】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項115に記載の装置。

【請求項118】 前記選択された広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするユニットをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項112から117のいずれかに記載の装置。

【請求項119】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項118に記載の装置。

【請求項120】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に応答するユニットをさらに含む請求項111から119のいずれかに記載の装置。

【請求項121】 前記告知制御ユニットはカレンダー表示部を含み、このカレンダー表示部は、

前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示の中に前記広告を組み込む月表示部と、

前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示の中に前記広告を組み込む週表示部と、

前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示の中に前記広告を組み込む日表示部と、

を含む請求項100から120のいずれかに記載の装置。

【請求項122】 前記ユーザーの前記スケジュールを登録するユニットをさらに含む請求項100から121のいずれかに記載の装置。

【請求項123】 前記スケジュールの登録、前記スケジュールの取得の少なくとも一方を契機に前記広告が受信される請求項122に記載の装置。

【請求項124】 前記告知制御ユニットは、音声通知ユニットを含む請求項100から123のいずれかに記載の装置。

【請求項125】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを取得するユニットと

前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットと、

前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

【請求項126】 前記スケジュールを取得するユニット、前記求人情報を取得するユニットの少なくとも一方は、タイマーの設定により定期的に取得処理を行う請求項125に記載の装置。

【請求項127】 前記ユーザーを個人として認証するための情報を入力するユニットをさらに含む請求項125、126のいずれかに記載の装置。

【請求項128】 前記ユーザーをグループの一員として認証するための情報を入力するユニットをさらに含む請求項125から127のいずれかに記載の装置。

【請求項129】 前記求人情報は予め選抜されたユーザーのみが受信可能に構成される請求項125から128のいずれかに記載の装置。

【請求項130】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合する

ユーザーが選抜される請求項129に記載の装置。

【請求項131】 前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーが選抜される請求項130に記載の装置。

【請求項132】 前記ネットワークを介して前記ユーザーが個人情報を入力するユニットをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項129から131のいずれかに記載の装置。

【請求項133】 前記条件は前記求人のスキル条件であり、その条件を満たすユーザーが選抜される請求項132に記載の装置。

【請求項134】 前記条件は前記求人のジャンルであり、そのジャンルに嗜好が合うユーザーが選抜される請求項132に記載の装置。

【請求項135】 前記個人情報は前記ネットワークを介して提供されたアンケートに対する回答の形で入力される請求項132から134のいずれかに記載の装置。

【請求項136】 前記アンケートは、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットが与えられる形で提供される請求項135に記載の装置。

【請求項137】 前記求人情報の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするユニットをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項125から136のいずれかに記載の装置。

【請求項138】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項137に記載の装置。

【請求項139】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項137、138のいずれかに記載の装置。

【請求項140】 当該装置は前記ネットワークを介して広告を取得するユニットをさらに含み、

前記判定するユニットはさらに、前記広告の目的時刻を判定し、

前記告知制御ユニットはさらに、前記スケジュールと前記広告を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知する請求項125から139のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 1】 前記広告の関連情報へ前記ネットワークを介してアクセスするユニットをさらに含み、その関連情報に着目して前記ユーザーが選抜される請求項 1 4 0 に記載の装置。

【請求項 1 4 2】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 1 4 1 に記載の装置。

【請求項 1 4 3】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項 1 4 1、1 4 2 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 4】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する応答を送信するユニットをさらに含む請求項 1 2 5 から 1 4 3 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 5】 前記告知制御ユニットはカレンダー表示部を含み、このカレンダー表示部は、

前記目的時刻が月単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する月の表示の中に前記広告を組み込む月表示部と、

前記目的時刻が週単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する週の表示の中に前記広告を組み込む週表示部と、

前記目的時刻が日単位で表現されていれば前記スケジュールの該当する日の表示の中に前記広告を組み込む日表示部と、

を含む請求項 1 2 5 から 1 4 4 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 6】 前記ユーザーのスケジュールを登録するユニットをさらに含む請求項 1 2 5 から 1 4 5 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 7】 前記スケジュールの登録、前記スケジュールの取得の少なくとも一方を契機に前記求人情報が取得される請求項 1 4 6 に記載の装置。

【請求項 1 4 8】 前記告知制御ユニットは、音声通知ユニットを含む請求項 1 2 5 から 1 4 7 のいずれかに記載の装置。

【請求項 1 4 9】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザーに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、

前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択する探索ユニットと、

前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するためのデータを生成するユニットと、
を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

【請求項150】 前記ユーザーを個人として認証するユニットをさらに含む請求項149に記載の装置。

【請求項151】 前記ユーザーをグループの一員として認証するユニットをさらに含む請求項149、150のいずれかに記載の装置。

【請求項152】 前記ユーザーの個人情報を取得するユニットをさらに含み、その個人情報をもとに前記広告が選択される請求項149から151のいずれかに記載の装置。

【請求項153】 前記個人情報を取得するユニットは、
前記ネットワークを介してアンケートを配信するユニットと、
前記アンケートに対する回答を受信するユニットと、
を含む請求項152に記載の装置。

【請求項154】 前記個人情報を取得するユニットは、前記アンケートを、それに回答したユーザーに対し、前記ネットワークの利用に関連するメリットを与える形で提供する請求項153に記載の装置。

【請求項155】 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスするための処理を行う関連情報指示ユニットをさらに含む請求項149から154のいずれかに記載の装置。

【請求項156】 前記関連情報は前記選択された広告の詳細情報である請求項155に記載の装置。

【請求項157】 前記関連情報指示ユニットは、前記アクセスされた関連情報の内容を判定するユニットを有し、

その内容をもとに前記広告が選択される請求項155、156のいずれかに記載の装置。

【請求項158】 前記関連情報指示ユニットは、前記関連情報のアクセス回数を計数するユニットを有し、

その回数をもとに前記広告が選択される請求項155から157のいずれかに記載の装置。

【請求項159】 前記データを生成するユニットはさらに、前記ネットワークを介して求人情報を送信するためのデータを生成する請求項149から151のいずれかに記載の装置。

【請求項160】 前記探索ユニットは、前記求人情報を送付すべきユーザーを選抜する求人条件マッチング判定部を含む請求項159に記載の装置。

【請求項161】 前記求人条件マッチング判定部は、ユーザーのスケジュールと前記求人情報の目的時刻を比較するユーザースケジュール判定部を含む請求項160に記載の装置。

【請求項162】 前記ユーザースケジュール判定部は、前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーを選抜する請求項161に記載の装置。

【請求項163】 前記ネットワークを介して前記ユーザーの個人情報を取得するユニットをさらに含み、

前記求人条件マッチング判定部は、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーを選抜する請求項160から162のいずれかに記載の装置。

【請求項164】 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報に含まれるスキル条件を満たすユーザーを選抜するユーザースキル判定部を含む請求項163に記載の装置。

【請求項165】 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報が示すジャンルにその嗜好が適合するユーザーを選抜するユーザー嗜好判定部を含む請求項163に記載の装置。

【請求項166】 前記選択された広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をする関連情報指示ユニットをさらに含み、

前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項160から165のいずれかに記載の装置。

【請求項167】 前記求人情報に対する前記ユーザーの応答を受け付けるユニットをさらに含む請求項159から166のいずれかに記載の装置。

【請求項 168】 前記ユーザーのスケジュール更新の要求を受け付けるユニットをさらに含む請求項 149 から 167 のいずれかに記載の装置。

【請求項 169】 前記スケジュール更新を契機に前記広告が送信される請求項 168 に記載の装置。

【請求項 170】 前記探索ユニットの処理に応じた課金情報を生成する課金管理ユニットをさらに含む請求項 149 から 169 のいずれかに記載の装置。

【請求項 171】 前記探索ユニットは、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択することに代えて、前記広告に嗜好が適するユーザーを選択し、

前記選択されたユーザーのために前記データが生成されることを特徴とする請求項 149 から 169 のいずれかに記載の装置。

【請求項 172】 前記探索ユニットによって選択されたユーザーの数に応じた課金情報を生成する課金管理ユニットをさらに含む請求項 171 に記載の装置。

【請求項 173】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置であって、

前記ネットワークを介してユーザーに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、

前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択する探索ユニットと、

前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するためのデータを生成するユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信装置。

【請求項 174】 前記ユーザーを個人として認証するユニットをさらに含む請求項 173 に記載の装置。

【請求項 175】 前記ユーザーをグループの一員として認証するユニットをさらに含む請求項 173、174 のいずれかに記載の装置。

【請求項 176】 前記探索ユニットは、前記求人情報を送付すべきユーザーを選抜する求人条件マッチング判定部を含む請求項 173 から 175 のいずれかに記載の装置。

【請求項 177】 前記求人条件マッチング判定部は、ユーザーのスケジュールと前記求人情報の目的時刻の比較するユーザースケジュール判定部を含む請求項 176 に記載の装置。

【請求項 178】 前記ユーザースケジュール判定部は、前記求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザーを選抜する請求項 177 に記載の装置。

【請求項 179】 前記ユーザーの個人情報を取得するユニットをさらに含み、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーが選抜される請求項 176 から 178 のいずれかに記載の装置。

【請求項 180】 前記ユーザーの個人情報を取得するユニットをさらに含み、

前記求人条件マッチング判定部は、その個人情報が前記求人情報の条件に整合するユーザーを選抜する請求項 176 から 178 のいずれかに記載の装置。

【請求項 181】 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報に含まれるスキル条件を満たすユーザーを選抜するユーザースキル判定部を含む請求項 179 に記載の装置。

【請求項 182】 前記求人条件マッチング判定部は、前記求人情報が示すジャンルにその嗜好が適合するユーザーを選抜するユーザー嗜好判定部を含む請求項 179 に記載の装置。

【請求項 183】 前記個人情報を取得するユニットは、
前記ネットワークを介してアンケートを配信するユニットと、
前記アンケートに対する回答を受信するユニットと、
を含む請求項 179 から 182 のいずれかに記載の装置。

【請求項 184】 前記個人情報を取得するユニットは、前記アンケートを、それに回答したユーザーに対して前記ネットワークの利用に関連するメリットを与える形で提供する請求項 183 に記載の装置。

【請求項 185】 前記求人情報の関連情報へ前記ユーザーがアクセスする援助をする関連情報指示ユニットをさらに含み、前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項 176 から 184 のいずれかに記載の装置。

【請求項186】 前記アクセスされた関連情報の内容をもとに前記ユーザーが選抜される請求項185に記載の装置。

【請求項187】 前記関連情報のアクセス頻度をもとに前記ユーザーが選抜される請求項185、186のいずれかに記載の装置。

【請求項188】 当該装置は、前記スケジュールと関連づけられるべき広告を取得するユニットをさらに含み、

前記データを生成するユニットはさらに、前記広告を含むよう前記データを生成する請求項173から187のいずれかに記載の装置。

【請求項189】 当該装置は、前記広告の関連情報へ前記ユーザーがアクセスするための処理を行う関連情報指示ユニットをさらに含み、

前記アクセスされた関連情報をもとにユーザーが選抜される請求項188に記載の装置。

【請求項190】 前記関連情報指示ユニットは、前記アクセスされた関連情報の内容を判定するユニットを有し、

その内容にしたがって前記ユーザーが選抜される請求項189に記載の装置。

【請求項191】 前記関連情報指示ユニットは、前記関連情報のアクセス回数を計数するユニットを有し、

その回数にしたがって前記ユーザーが選抜される請求項189、190のいずれかに記載の装置。

【請求項192】 前記ネットワークを介し、前記求人情報に対する前記ユーザーの応答を取得するユニットをさらに含む請求項173から191のいずれかに記載の装置。

【請求項193】 前記ユーザーのスケジュール更新の要求を受け付けるユニットをさらに含む請求項173から192のいずれかに記載の装置。

【請求項194】 前記スケジュール更新を契機に前記求人情報が送信される請求項193に記載の装置。

【請求項195】 前記探索ユニットの処理に応じた課金情報を生成する課金管理ユニットをさらに含む請求項173から194のいずれかに記載の装置。

【請求項196】 サーバ側システムとユーザー側であるクライアントを含

むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムであって、

前記サーバ側システムは、

前記ユーザーに前記スケジュールを送信するユニットと、

前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するユニットと、

前記選択した広告を前記ユーザーに送信するユニットと、

を含み、

前記クライアントは、

前記スケジュールを受信するユニットと、

前記広告を受信するユニットと、

前記広告の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信システム。

【請求項 197】 前記サーバ側システムは、

前記クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバである WWW サーバーと、

前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記広告を抽出して前記 WWW サーバーに引き渡す広告サーバーと、

を含むことを特徴とする請求項 196 に記載のスケジュール通信システム。

【請求項 198】 サーバとユーザー側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムであって、

前記サーバ側システムは、

前記ユーザーに前記スケジュールを送信するユニットと、

前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するユニットと、

前記選択した求人情報を前記ユーザーに送信するユニットと、

を含み、

前記クライアントは、

前記スケジュールを受信するユニットと、

前記求人情報を受信するユニットと、

前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットと、

を含むことを特徴とするスケジュール通信システム。

【請求項199】 前記サーバ側システムは、

前記クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバであるWWサーバと、

前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記求人情報を抽出して前記WWWサーバに引き渡す広告サーバと、

を含むことを特徴とする請求項198に記載のスケジュール通信システム。

【請求項200】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法をコンピュータにて実行可能なプログラムとして記録した媒体であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと

前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、

前記広告の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するステップと、

を含むプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項201】 ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法をコンピュータにて実行可能なプログラムとして記録した媒体であって、

前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと

前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、

前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、

前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップと、

を含むプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項202】 そのスケジュールが前記求人情報の目的時刻に整合しないユーザが選抜された上で、そのユーザのスケジュールが前記求人情報よりも優先的に把握される状態で前記求人情報が前記ユーザに告知される請求項13、62のいずれかに記載の方法。

【請求項203】 前記個人情報は、前記ユーザが興味をもつ情報を示すキーワードの形で送信される請求項5に記載の方法。

【請求項204】 前記個人情報は、前記ユーザが興味をもつ情報を示すキーワードの形で受信される請求項53に記載の方法。

【請求項205】 前記キーワードにヒットする広告が送信されたとき、そのヒットの程度に応じた課金情報が生成される請求項204に記載の方法。

【請求項206】 前記ネットワークを介して労働力提供情報を送信するステップをさらに含み、当該情報が前記ネットワークシステムに参加する企業へ転送される請求項2、3、4、26のいずれかに記載の方法。

【請求項207】 前記選択された広告の関連情報を前記ネットワークを介して電子メールの形で受信するステップをさらに含む請求項1から7のいずれかに記載の方法。

【請求項208】 前記求人情報の関連情報を前記ネットワークを介して電子メールの形で受信するステップをさらに含む請求項26から37のいずれかに記載の方法。

【請求項209】 前記スケジュールの中に組み込むべき広告の数の上限を予め設定するステップをさらに含み、その上限に達したとき、それ以上の広告の告知が中止または中断される請求項1から25のいずれかに記載の方法。

【請求項210】 前記スケジュールに関連づけるべき求人情報の数の上限を予め設定するステップをさらに含み、その上限に達したとき、それ以上の求人情報の関連づけが中止または中断される請求項26から49のいずれかに記載の方法。

【請求項211】 前記ユーザまたは他所定の人のある場所を検出するステップをさらに含み、その場所を示す情報がその場所にいた時刻に関連づけられて前記スケジュールの表示の中へ組み込まれる請求項1から48のいずれかに

記載の方法。

【請求項 212】 時間の経過とともに刻々変化する情報を前記スケジュールに組み込んでユーザに告知するステップをさらに含む請求項 1 から 48 のいずれかに記載の方法。

【請求項 213】 前記刻々変化する情報は前記スケジュールのカレンダー表示の中に組み込まれて表示されるとともに、当該情報を提供するスポンサーが当該情報の近傍に表示される請求項 212 に記載の方法。

【請求項 214】 前記目的時刻が主体的な要因に基づいて定められた請求項 1 から 48 のいずれかに記載の方法。

【請求項 215】 前記ユーザのスケジュールが比較的空いている日時を検出するステップと、

その日時を前記目的時刻に設定するステップと、

をさらに含む請求項 1 から 48 のいずれかに記載の方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、ユーザーのスケジュールを通信する技術に関する。この発明はとくに、ユーザーのスケジュールを送受信する方法、装置、システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

フォローマーケティングを前提としたインターネットのコミュニケーションでは、ほとんどの場合情報発信者、すなわち企業側がイニシアティブをとっている。そのため発信者には、常に自己のウェブコンテンツの魅力を高め、ユーザーの継続的なアクセスを獲得する努力が求められる。こうしたビジネスでは、ユーザーの要望を的確に把握し、ユーザーの声を反映すべく、電子メールなどによる最新の情報の配信等をとおしたユーザーとの直接かつ密接な関係構築が重要な鍵である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、いかにユーザーの多様な声を反映させたとしても、結局は最大公約数的な情報を発信するしかできない場合が多い。逆に、少数派を満足させるために些細な情報まで掲示または配信するとすれば、情報過多となって結局はユーザーが敬遠する。インターネットを利用するユーザー端末に対するバナー広告も非常に盛んであるが、不特定多数にランダムな広告を打ってもその効果のほどは疑わしい。

【０００４】

本発明はそうした課題に鑑みてなされたものであり、その目的は、個々のユーザーが望む情報を的確に把握および提供可能なネットワークによるサービス提供技術を提供することにある。

【０００５】

本発明の別の目的は、ユーザーのスケジュールをネットワークで配信するとき、各種付加情報を与えることでユーザーの多様な要望に応える技術を提供することにある。

【０００６】

本発明のさらに別の目的は、企業がネットワークを介して広告を配信する際、効果的な技術を提供することにある。

【０００７】

本発明のさらに別の目的は、企業がネットワークを介して求人情報または求人広告を出す際、効果的な技術を提供することにある。

【０００８】

この目的は特許請求の範囲における独立項に記載の特徴の組合せにより達成される。また従属項は、本発明の具体的かつ有用な形態を規定する。

【０００９】

【課題を解決するための手段】

以上の課題を解決するために、本発明はネットワークを介したユーザーのスケジュール通信技術を基調に構築される。ここで「ネットワーク」は有線、無線を問わず、なんらかのデータのやりとりが可能な伝送手段を含む。「スケジュール」とは、ユーザーの個人的な予定など時間軸をベースに組み立てられる個別情報

全般をいう。後述の「広告」とは通常宣伝と理解される営業的なものの他、企業や個人が他人に対してアピールするための情報全般を指す。「求人情報」とは通常求人広告として理解される情報の他、有償と無償とを問わず、広く労働力の提供を求めるための情報をいう。

【0010】

本発明のある態様は、ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信方法である。この方法はとくにユーザー側、またはクライアント側に適している。この方法は、前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと、前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広告を受信するステップと、前記広告の目的時刻を判定するステップと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するステップとを含む。また、前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップをさらに含んでもよい。この方法によれば、ユーザーが受信したスケジュールの中に広告を組み込んでユーザーに知らせることができる。

【0011】

本発明の別の態様もスケジュールの通信方法であり、この方法もユーザー側に適している。この方法は、前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを受信するステップと、前記ネットワークを介して求人情報を受信するステップと、前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するステップとを含む。この方法によれば、例えばスケジュールの中に求人情報を組み込んでユーザーに知らせることができる。

【0012】

本発明のさらに別の態様もスケジュール通信方法であり、この方法はとくにホスト側またはサーバー側に適している。この方法は、ネットワークを介してユーザーに前記スケジュールを送信するステップと、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するステップと、前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するステップとを含む。このため、前記ユーザーは、広告がスケジュールに組み込まれた状態でそれ

を認識することができきる。この方法は、前記ネットワークを介して求人情報を送信するステップをさらに含んでもよい。

【0013】

本発明のさらに別の態様もサーバ側に適したスケジュールの通信方法である。この方法は、前記ネットワークを介してユーザに前記スケジュールを送信するステップと、前記ユーザに送信すべき求人情報を選択するステップと、前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザに送信するステップとを含む。この方法によれば、例えばユーザがそのスケジュールに求人情報を組み入れた状態でスケジュールを確認することができる。

【0014】

本発明のさらに別の態様は、サーバクライアントシステムにおけるスケジュールの通信方法である。この方法は、前記サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、前記サーバが前記ユーザの嗜好に沿う広告を選択するステップと、前記サーバが前記選択した広告を前記ユーザに送信するステップと、前記ユーザ側にて前記広告の目的時刻を判定するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザに告知するステップとを含む。

【0015】

本発明のさらに別の態様サーバクライアントシステムにおけるスケジュール通信方法であり、前記サーバが前記ユーザにスケジュールを送信するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールを受信するステップと、前記サーバが前記ユーザに送信すべき求人情報を選択するステップと、前記サーバが前記選択した求人情報を前記ユーザに送信するステップと、前記ユーザ側にて前記求人情報を受信するステップと、前記ユーザ側にて前記求人情報の目的時刻を判定するステップと、前記ユーザ側にて前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザに告知するステップとを含む。

【0016】

なお、以上の処理を実行するプログラムを格納したコンピュータで読み取り可能な記録媒体を提供してもよい。そのプログラムはコンピュータによって実行される。

【0017】

本発明のさらに別の態様は、ネットワークシステムにおけるスケジュールの通信装置である。この装置はユーザー側に適しており、前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを取得するユニットと、前記ネットワークを介して前記ユーザーの嗜好に沿うものとして選択された広告を取得するユニットと、前記広告の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットとを含む。この装置によれば、ユーザーはスケジュールに広告が組み込まれた状態で確認することができる。

【0018】

本発明のさらに別の態様もスケジュールの通信装置であり、この装置もユーザー側に適している。この装置は、前記ネットワークを介してユーザーの前記スケジュールを取得するユニットと、前記ネットワークを介して求人情報を取得するユニットと、前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットとを含む。この装置によれば、ユーザーはスケジュールに求人情報が組み込まれた状態で確認することができる。

【0019】

本発明のさらに別の態様もユーザー側に適したスケジュールの通信装置である。この装置は、前記ネットワークを介してユーザーに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択する探索ユニットと、前記選択された広告に、当該広告を前記スケジュールの中に組み込むための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するためのデータを生成するユニットとを含む。

【0020】

本発明のさらに別の態様はサーバー側に適したスケジュールの通信装置である

。この装置は、前記ネットワークを介してユーザーに送信すべき前記スケジュールを読み出すスケジュール管理ユニットと、前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択する探索ユニットと、前記選択された求人情報に、当該求人情報と前記スケジュールとを関連づけるための目的時刻を付加して前記ユーザーに送信するためのデータを生成するユニットとを含む。

【００２１】

本発明のさらに別の態様は、サーバ側システムとユーザー側であるクライアントを含むネットワークシステムにおけるスケジュールの通信システムである。このサーバ側システムは、前記ユーザーに前記スケジュールを送信するユニットと、前記ユーザーの嗜好に沿う広告を選択するユニットと、前記選択した広告を前記ユーザーに送信するユニットとを含む。一方、前記クライアントは、前記スケジュールを受信するユニットと、前記広告を受信するユニットと、前記広告の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールの中に前記目的時刻に沿って前記広告を組み込んで前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットとを含む。また、前記サーバ側システムは、前記クライアントとの通信をインターネットに行うフロントサーバであるWWWサーバーと、前記クライアントとの通信の内容に応じて前記スケジュールおよび前記広告を抽出して前記WWWサーバーに引き渡す広告サーバーとを含んでもよい。この構成によれば、クライアント側、すなわちユーザー側にてそのスケジュールに広告を組み込んだ状態でスケジュールの確認ができる。

【００２２】

本発明のさらに別の態様は、同じくスケジュールの通信システムである。このシステムにおいてサーバ側システムは、前記ユーザーに前記スケジュールを送信するユニットと、前記ユーザーに送信すべき求人情報を選択するユニットと、前記選択した求人情報を前記ユーザーに送信するユニットとを含む。一方、前記クライアントは、前記スケジュールを受信するユニットと、前記求人情報を受信するユニットと、前記求人情報の目的時刻を判定するユニットと、前記スケジュールと前記求人情報を前記目的時刻によって関連づけて前記ユーザーに告知するための告知制御ユニットとを含む。この構成によれば、クライアント側、すなわち

ユーザー側にてそのスケジュールと求人情報を関連づけた状態でスケジュールの確認ができる。

【0023】

なお以上の発明の概要は、本発明に必要なすべての特徴を列挙したものではなく、当然ながら、これらの特徴群のサブコンビネーションもまた発明となりうる。

【0024】

【発明の実施の形態】

以下の実施の形態は、特許請求の範囲に記載された発明を限定するものではなく、また実施の形態の中で説明されている特徴の組合せのすべてが発明の解決手段に必須であるとは限らない。

【0025】

図1は、実施の形態に係るスケジュール通信システムの構成を示す。このシステムではサーバ側がユーザのスケジュールを管理している。ユーザは自分のスケジュールを知るためにサーバ側にアクセスする。その際、サーバ側はユーザに適した広告または企業の求人情報をスケジュールに組込可能な形で提供する。

【0026】

スケジュール通信システム10は、サーバ側システム30とユーザ側クライアントシステムであるPC（パーソナルコンピュータ）12、および企業サーバ52を含む。ただし、クライアントシステムはPC12である必要はなく、たとえば携帯電話16その他任意の情報端末であってよい。

【0027】

サーバ側システム30は主に、ユーザにスケジュールを送信する機能と、ユーザの嗜好に沿う広告を選択する機能と、選択した広告をユーザに送信する機能とを含む。サーバ側システム30はさらに、ユーザに送信すべき求人広告を選択する機能と、選択した求人情報をユーザに送信する機能を含む。一方クライアントは、送信されたスケジュールを受信する機能と、送信された広告および求人情報を受信する機能と、それら広告や求人情報の目的時刻を判定する機能と、送信されたスケジュールの中に目的時刻に沿って広告を組み込んでユーザに告知する機

能と、同じく送信されたスケジュールと送信された求人情報をその目的時刻によって関連づけてユーザに告知する機能とを含む。ここで目的時刻とは、たとえば広告の対象となるイベントの日時や求人情報に含まれる勤務の日時等、広告や求人情報に何らかの関連を有する時刻をいう。

【0028】

クライアントであるPC12は、実施の形態に係るスケジュール通信装置14を含む。スケジュール通信装置14は主にPC12のCPUとメモリにロードされたプログラムによって実現される。ただし、それ以外の任意のハードウェアおよびソフトウェアの組合せによってこの装置を構成することも可能であり、その設計自由度の高さは当業者には容易に理解されるところである。スケジュール通信装置14をソフトウェアモジュール群として構成する場合、このプログラムをフロッピーディスク18等の記録媒体によってPC12へロードすることができる。

【0029】

サーバ側システム30は、メインユニット32とユーザ情報データベース40と広告データベース50をもつ。メインユニット32は、クライアントとの通信をインターネットにて行うフロントサーバであるWWWサーバ34とクライアントとの通信の内容に応じてスケジュール、広告および求人情報をユーザ情報データベース40から抽出してWWWサーバ34に引き渡す広告サーバ36を含む。

【0030】

広告サーバ36は実施の形態に係るサーバ側のスケジュール通信装置38を内蔵する。ただしサーバ側のスケジュール通信装置38はその一部または全部がWWWサーバ34の側に内蔵されてもよく、その設計の自由度も高い。

【0031】

ユーザ情報データベース40はユーザのスケジュールを保持するスケジュールデータベース42とユーザの個人情報を保持する個人情報データベース44を含む。広告データベース50は企業の広告を保持するもので、その広告はたとえば企業サーバ52からメインユニット32を経由して格納される。ただし、広告の格納はオフライン処理で行われてもよい。企業サーバ52は、広告をメインユニ

ット32へ送付するサーバ機能の他、クライアントから広告の詳細情報が問い合わせられたときにアクセスされる企業のホームページとしての機能も有する。

【0032】

以上の構成において、サーバとクライアントの通信の主体はユーザのスケジュールであるが、このシステムではそのスケジュールの時間を軸として広告や求人情報がスケジュールの中に組み込まれる形でユーザに告知される。また、あらかじめ広告とユーザのマッチングおよび求人情報とユーザのマッチングが検証され、最も宣伝効果が高いと予想されるユーザに広告が送られ、かつ企業が最も採用したいと思われるユーザに効果的に求人広告が流される。またユーザにしても、自分が一番興味を持ちそうな広告が自然に流され、自分が働いてみたい条件の求人情報を効率的に得ることができる。

【0033】

図2は、クライアント側のスケジュール通信装置14の構成を示す。ユーザ識別情報入力部100は、スケジュールにアクセスする際のユーザの確認をするための情報を入力する。スケジュール登録部102は、ユーザが自らスケジュールを登録または更新する際に用いる。スケジュール取得部104は、ユーザが自らスケジュールを確認する際に利用する。スケジュール取得部104によって取得されたスケジュールは、目的時刻判定部110へ送られる。

【0034】

目的時刻判定部110は、取得されたスケジュールの目的時刻を判定する。たとえばスケジュールが、「1月1日から一週間旅行に出る」であれば、目的時刻は「1月1日」または「1月1日から一週間」のように判定される。スケジュールおよびその目的時刻は告知制御部120へ送られる。

【0035】

告知制御部120は、スケジュールの内容とその目的時刻をユーザに告知するための各種制御を行う。たとえばユーザのスケジュールが、10月10日にコンサートに行くことであれば、告知制御部はまずディスプレイに10月10日前後のカレンダーを表示させ、かつ10月10日の日付部分に「コンサート」と表示させる。

【0036】

広告取得部106は、サーバ側システム30から送られてくる企業の広告を取得する。求人情報取得部108は、同様に求人情報を取得する。求人情報はあらかじめ選抜されたユーザのみが受信可能としても良い。広告および求人情報はともに目的時刻判定部110へ送られ、これらの目的時刻が判定される。判定の結果は告知制御部120へ送られる。告知制御部120では、たとえば広告の内容が「××デパート、11月10日、全品20%オフ」であれば、11月10日前後のカレンダーを表示させ、かつその11月10日の日付部分に例えば「××デパート、20%オフ」と表示させる。同様に、求人情報が「12月10日工事現場アルバイト」であれば、告知制御部120はまず12月10日前後のカレンダーを表示させ、かつ12月10日の日付部分に「工事現場アルバイト募集中」などと表示させる。

【0037】

関連情報アクセス部160は、表示された広告や求人情報に興味を持つユーザがその詳細情報を知りたいときに利用する。たとえば、告知制御部120によって表示された広告や求人情報の下線付き情報をクリックすると、関連情報アクセス部160はこのアクションを検出し、詳細情報へアクセスする。

【0038】

タイマー150は、スケジュール、広告、求人情報の取得を所定の時刻や一定間隔で行うために利用される。たとえば、スケジュール通信装置14は通常オンラインで利用され、5分おきにダイヤルアップして広告を取得するといった制御が可能である。タイマー150は、ソフトウェアによるポーリングやリアルタイムクロックICによって構成できる。リアルタイムクロックICが利用される場合、その出力を告知制御部120におけるカレンダー表示に利用することができる。

【0039】

求人応答部114は、ユーザが求人に応募するときに利用する。実際には、求人情報が表示されたときに「応募する」というボタンも併せて表示し、ユーザがそのボタンをクリックしたとき求人応答部114がその旨をサーバ側システム3

0へ伝える。

【0040】

個人情報入力部116は、ユーザの住所氏名をはじめとする個人情報を入力する。

【0041】

通信I/F部112は、通信部162とスケジュール通信装置14のインタフェースである。通信部162は、たとえばPC14があらかじめ備えるモデムやLAN回路や光通信回路等任意の通信機能ブロックである。通信I/F部112は、通信部162がネットワークとの間のデータ授受が可能なようスケジュール通信装置14のデータを変換する。ただし、通信部162が通信I/F部112の機能を備えている場合もあり、その場合スケジュール通信装置14は通信I/F部112を持つ必要はない。

【0042】

図3はユーザ識別情報入力部100の構成を示す。PID入力部100aは、ユーザを個人として認証するためのIDを入力する。PPW入力部100bはユーザを個人として認証するためのパスワードを入力する。GID入力部3はユーザをグループとして認証するためのIDを入力する。GPW入力部100dはユーザをグループとして認証するためのパスワードを入力する。

【0043】

この実施の形態は、ユーザを個人として認証できるだけでなく、そのユーザが属するグループの一員として認証する機能を持つ。たとえば、友人同士でスケジュールを互いに見せることを認める場合、この友人のグループが共通のグループIDおよびグループパスワードを取得することにより、スケジュールの共有が可能となる。

【0044】

ユーザ識別情報入力部100はさらに、マシンID取得部100eを備える。マシンID取得部100eは、たとえばPC12のCPUのシリアル番号等マシンに固有のIDを取得する。マシンIDを利用する場合、たとえばユーザは個人のIDを入力しなくてもよい。マシンIDと通常の個人のIDやパスワード等の

組合せによるユーザの利便性の向上、またはセキュリティーの向上についてはいろいろな変形技術が考えられる。

【0045】

図4は、サーバ側システム30から送られてくるデータストリーム400の構成を示す。データストリーム400は、ヘッダ402と、ユーザのスケジュール404と、そのユーザの嗜好に合うとして選択された広告406と、同じくそのユーザの嗜好やスキルに合うとして選択された求人情報408を含む。ただし、スケジュール404、広告406、求人情報408はこれらのうち任意のひとつ以上の情報が送られてくるものでもよい。

【0046】

図5は、スケジュール取得部104の内部構成を示す。定間隔アクセス部104aは、既述のタイマー150の出力をもとに一定間隔でスケジュール、広告または求人情報に対するアクセスを起動する。ユーザ起動アクセス部104bは、ユーザが明示的にスケジュール等へのアクセスを指示したとき、実際にスケジュール取得動作を起動する。広告取得部106および求人情報取得部108も一定の時間間隔またはユーザが指示したときにそれらの情報に対するアクセスを行ってもよい。広告や求人情報を取得するその他のタイミングの別の例として、ユーザがスケジュールの登録を要求したとき、スケジュールが実際に登録されたとき、ユーザがスケジュールを取得したとき等を挙げることができる。

【0047】

図6は、目的時刻判定部110の内部構成を示す。スケジュール定型化部110aは、サーバ側システム30から送られてきたデータストリーム400のスケジュール404を解読し、スケジュールの内容と目的時刻を所定のデータフォーマットに落とす。

【0048】

図7はそのフォーマット430を示す。このフォーマット430は、ヘッダ432とスケジュールの内容434とスケジュールの目的時刻436を含む。広告定型化部110bおよび求人情報定型化部110cはそれぞれ広告と求人情報を図7同様のフォーマットへ落とす。これら3種類のフォーマット化されたデータ

は告知制御部 120 へ送られる。

【0049】

図 8 は告知制御部 120 の内部構成を示す。告知制御部 120 は主に表示制御部 122 と音声通知部 140 を含む。表示制御部 122 は、カレンダー表示部 124 と非カレンダー表示部 126 を含む。

【0050】

カレンダー表示部 124 は、スケジュールをカレンダーに組み込んだ形で表示する。その際、広告および求人情報もそのカレンダーに組み込まれ、またはそのカレンダーと関連づけられて表示される。カレンダー表示部 124 は、月表示部 128 と、週表示部 130 と、日表示部 132 と年表示部 134 と時刻表示部 136 を含む。月表示部 128 は、広告の目的時刻が月単位で表現されていればスケジュールの該当する月の表示の中にその広告を組み込む。同様に、週表示部 130 は広告の目的時刻が週単位で表現されていればスケジュールの該当する週の表示の中にその広告を組み込む。日表示部 132、年表示部 134、時刻表示部 136 についても同様である。

【0051】

これらの表示部は同時に複数が作動してもよく、たとえば「1999 年 11 月 27 日から 1 週間」という目的時刻であれば、月表示部 128、週表示部 130、日表示部 132 および年表示部 134 の 4 つの表示部が同時に作動してもよい。ここでは広告について説明したが、求人情報についても同様である。

【0052】

一方非カレンダー表示部 126 は、ユーザのスケジュール、広告、求人情報等をカレンダーではない形、たとえばメモの形で表示する。カレンダー表示部 124 と非カレンダー表示部 126 は同時に作動してもよく、たとえばスケジュールはカレンダーの中に記述するが、求人情報はカレンダーの外に表示することができる。

【0053】

音声通知部 140 は、ユーザのスケジュール、広告、求人情報等を音声によって通知するための処理を行う。たとえば「本日午前 10 時東京駅」のようなメッセージでスケジュールを音声出力する構成としてもよい。メッセージをはじめと

するテキストデータの音声出力については既知の任意の技術を用いてもよく、ここでは詳述しない。以上はPC 12に内蔵されたクライアント側のスケジュール通信装置14の構成である。

【0054】

図9は、サーバ側システム30の広告サーバ36に内蔵されたスケジュール装置38の内部構成を示す。

【0055】

通信部200は広告サーバ36の有する任意の通信機能であり、通信I/F部202はこの通信部200とスケジュール通信装置38のインタフェースとして機能する。既述のごとく通信I/F部202は通信部200の中にあってもよい。

【0056】

スケジュール要求受付部224は、ユーザから発信されたスケジュールに関する要求を受け付ける。この要求はユーザの識別情報とともに認証部226へ送られる。認証部226はテーブル232に記録されたIDとパスワードの組合せを参照し、ユーザを認証する。ユーザが正しく認証されたとき、ユーザのスケジュールに対する要求はスケジュール管理部222に送られる。スケジュール管理部222は、スケジュールデータベース42に対するデータのリードライトを制御する。したがって、ユーザのスケジュールに対する要求がスケジュールの確認であれば、そのユーザに関するスケジュールがスケジュールデータベース42から読み出され、これが送信データ生成部208へ送られる。送信データ生成部208は、ユーザのスケジュールを図4に示したデータストリーム400に変換し、これを通信I/F部202および通信部200を介してユーザへ送信する。

【0057】

個人情報取得部204は、図2に示すクライアント側のスケジュール通信装置14の個人情報入力部116に入力された個人情報を取得する。この個人情報は個人情報管理部210へ送られる。個人情報管理部210は個人情報データベース44に対するデータのリードライトを制御する。個人情報データベース44から読み出されたデータは必要に応じて探索部220へ送られる。

【0058】

広告取得部244は、企業サーバ52その他から広告を取得する。この広告にはすでに目的時刻が付与されていてもよいし、されていなくともよい。目的時刻が付与されていない場合、広告取得部244は企業サーバ52等に対してその情報の送信を要求する。広告およびその目的時刻に関する情報は広告管理部250へ送られる。広告管理部250は広告データベース50に対するデータのリードライトを制御する。広告データベース50から読み出された広告は必要に応じて探索部220および課金管理部246へ送られる。

【0059】

求人情報受付部206は、企業サーバ52等から求人情報を取得する。取得された求人情報はバッファメモリ242へ格納される。取得された求人情報は送信データ生成部208および課金管理部246へ送られる。送信データ生成部208は、後述する探索部220によって選抜されたユーザに対し求人情報を送るために必要なデータを生成する。求人応答受付部240は、ユーザに送信された求人情報に対する応募を受け付ける。受け付けられた応募はバッファメモリ242に格納される。

【0060】

関連情報指示部230は、送信された広告や求人情報に関する関連情報に対してユーザがアクセスを試みたとき、そのアクセスを実現するための処理を行う。関連情報指示部230はユーザがどのような広告または求人情報に対して興味を示したかを把握できるため、その情報を探索部220へ送る。関連情報に対するアクセスはまた、本スケジュール通信装置38が適切なユーザに適切な広告や求人情報を送信できたことを示す尺度となるため、その情報は課金管理部246へ送られる。すなわち、一種の成功報酬としての課金が発生する。

【0061】

図10は、個人情報取得部204の内部構成を示す。ゲーム配信部204aは、ネットワークを介してクライアントにゲームソフトウェアを配信する。クイズ配信部204bは、同様にクライアントにクイズを配信する。アンケート通信部204cは、インセンティブ型アンケート配信部204dと一般アンケート配信

部204eとアンケート受信部204fを含む。

【0062】

インセンティブ型アンケート配信部204dは、ゲーム配信部204aによって配信されたゲームで優秀な成績を収めたユーザにインセンティブ型のアンケートを配信する。インセンティブ型のアンケートとは、ユーザがその住所、氏名、年齢、職業、趣味、勤務先、好きなスポーツ、好きな音楽のジャンル、好きな映画、好きな雑誌、ひいきにしているスポーツチーム、よく出かける街、好きな食べ物、ライフスタイルに関する情報、行ってみたい国などの個人情報を回答することを条件として、ゲームで優秀な成績を収めたことに対する商品や景品をオンラインやオフラインで提供するものである。同様のアンケートは、クイズに正解し、または優秀な成績を収めたユーザにも配信される。

【0063】

ユーザメリット提供部204gは、そうした景品や商品等のユーザメリットをいろいろな形で提供する。この実施の形態では、たとえばユーザに対してネットワークの利用に関連するメリットを与える。たとえばスケジュールの通信で発生する費用を割り引いたり、音楽やゲーム等のソフトウェアを無料で配信したり、企業サーバ52を提供する企業の各種ネットワークサービスを低額で提供したり、ゲームまたはクイズの成績優秀者としてネットワーク上で表彰する等が考えられる。

【0064】

一方、一般アンケート配信部204eは、本実施の形態に係るスケジュールの通信サービスを開始する際に所定の必要事項をユーザに記入させるためのアンケート、その他とくにインセンティブを与えないタイプのアンケートを配信する。

【0065】

アンケート受信部204fは、インセンティブ型のアンケートまたは一般アンケートに対するユーザの回答を受信する。この回答は個人情報管理部210を介して個人情報データベース44に格納される。これらのアンケート、とくにインセンティブ型のアンケートにより、ユーザの詳細な個人情報をユーザ自らが進んで提供できる環境を作り出すことができる。そのため、ユーザをその嗜好に応じ

てセグメンテーションすることができる。

【0066】

図11は個人情報管理部210の内部構成を示す。データベースリード部210aは個人情報データベース44から必要なユーザの個人情報を読み出す。読み出された個人情報は探索部220へ送られる。データベースライト部210bは、個人情報取得部204から送られた個人情報を個人情報データベース44へ書き込む。

【0067】

図12はユーザごとに作成された個人情報カード450の構成を示す。個人情報カード450は個人情報データベース44に格納されている。このカード450は、アンケートの回答から得られた個人情報を格納するための第一の領域452と、後述する関連情報指示部230において得られた情報を格納する第二の領域454を含む。第一の領域452は、既述のユーザの住所氏名等の情報を格納する。一方、第二の領域454は、後述のごとくユーザがアクセスした関連情報の内容、すなわちジャンルとそのアクセス回数を格納する。アクセスした関連情報の内容とその回数により、ユーザの嗜好を把握する趣旨である。

【0068】

図13は、スケジュール要求受付部224の内部構成を示す。スケジュール確認受付部224aは、ユーザがそのスケジュールの確認の要求を送信したときこれを受け付ける。スケジュール更新受付部224bは、ユーザがそのスケジュールの登録または更新の要求を送信したとき、これを受け付ける。ただし、更新も登録もスケジュールの書き込みに相当し、それらに技術的な意味での相違はない。

【0069】

図14は、認証部226の内部構成を示す。PID/PPW判定部226aは、ユーザが個人識別情報として送信してきた個人のIDとパスワードの整合性を判定する。一方GID/GPW判定部226bは、ユーザがグループの一員として送信してきたIDとパスワードの整合性を判定する。これらふたつの判定部は、IDとパスワードの組合せが正しいかどうかをテーブル232に格納された組

合せに照らして判断する。マシンID判定部226cは、ユーザのマシンのIDが送られてきた際、これとユーザのパスワードの整合性等を判定する。ユーザが正しく認証されたとき、スケジュールの確認または更新を許可すべく、そのユーザの名前またはID等の情報がスケジュール管理部222へ送られる。

【0070】

図15は、企業サーバ52から送信された求人情報460を示す。求人情報460は求人情報受付部206で受信され、バッファメモリ242へ一時的に格納される。求人情報460は、任意の数の募集を含む。ここでは、第一の募集462としてコンサートチケット購入のためにアルバイトとして並ぶ人員が求められている。また第二の募集464として、PC設計の正社員が求められている。いずれの情報も、人員が必要とされる目的時刻、勤務地、勤務内容、給与、勤務の内容または分類、募集の詳細を知るための企業のホームページのURL等が記述されている。目的時刻の例として、勤務開始日や開始時間、勤務の期間、勤務時間帯などがある。

【0071】

図16は、企業サーバ52から送られた広告470を示す。広告470は広告取得部244で受信される。広告470は任意の数の広告アイテムを含む。ここでは第一のアイテム472としてレコードショップにおけるディスカウントセールが記述され、第二のアイテム474として美術館における特別展が記述されている。いずれのアイテムも、ディスカウントの期間や展示の期間等の目的時刻、広告の対象となるイベントの開催場所、広告すべき内容、イベントの内容または分類、イベントの詳細を知るためにアクセスすべきURL等を含む。

【0072】

図17は関連情報指示部230の内部構成を示す。アクセス検出部230aは、ユーザから送信されてきた広告や求人情報の関連情報、すなわちここでは詳細情報を知るためにPC12の画面等に表示されたボタン等（図示せず）を押したとき、このアクションを検出する。キャスティング部230bは、アクセス検出部によって関連情報へのアクセスが検出されたとき、実際にその関連情報を保持する企業サーバ52またはそのホームページへユーザのアクセスをキャストする

【 0 0 7 3 】

一方、アクセス情報分析部 2 3 0 c は、ユーザがクリックした関連情報の内容を判定するアクセス内容判定部 2 3 0 b と、その関連情報と同様の内容を持つ関連情報へユーザがアクセスした合計回数をカウントするアクセス回数計数部 2 3 0 e を含む。関連情報の内容は、その関連情報が属するジャンル、分野、カテゴリー等関連情報をインデキシングする任意の分類であってよい。

【 0 0 7 4 】

図 1 2 の個人情報カード 4 5 0 の第二の領域 4 5 4 は、こうして分析された関連情報の内容およびアクセス回数を示す。たとえば同図のごとく、このユーザは音楽関係の情報に 1 0 回アクセスし、美術関係の情報に 5 回アクセスし、以下同様にアクセスされた関連情報の内容とその回数がリスト化されている。アクセス情報分析部 2 3 0 c によって得られた情報は、個人情報取得部 2 0 4 へ送られ、そこで個人情報カード 4 5 0 が作成される。ただし、個人情報カード 4 5 0 は第一の領域 4 5 2 のみを含む構成であってもよく、その場合、アクセス情報分析部 2 3 0 c によって得られた情報は直接探索部 2 2 0 へ送られる。これらの情報の管理および格納の方法に種々の形態があることは当業者には容易に理解されるところである。

【 0 0 7 5 】

図 1 8 は探索部 2 2 0 の内部構成を示す。探索部 2 2 0 は主に、広告に関連する探索機能と、求人情報に関連する探索機能を有する。広告に関連する探索機能として、広告ベースユーザ検出部 2 2 0 a およびユーザベース広告検出部 2 2 0 b が設けられている。

【 0 0 7 6 】

広告ベースユーザ検出部 2 2 0 a は、まず企業がユーザに配信したいと考える広告を想定する。しかるのち、その広告に適合するユーザを選択する。ユーザを選択する際、個人情報カード 4 5 0 が利用される。たとえば広告があるデパートの大売り出しに関するものであれば、たとえばショッピングを趣味とするユーザが選択される。また、音楽 C D のディスカウントセールが広告の内容であれば、

音楽に興味を持つユーザが選択される。別の例として、横浜のバーゲンセールに関する広告であれば、まず横浜を中心とするユーザが選択される。ユーザは個人情報カード450の第一の領域452、第二の領域454のいずれを用いて選択されてもよいし、それらの領域に含まれる任意の項目の任意の組合せをもとに選択されてもよい。いずれにせよ、広告ベースユーザ検出部220aは、ある広告をベースに、その広告に何らかの意味で嗜好が合致する、または興味を持ちうるユーザを選択すればよい。

【0077】

一方、ユーザベース広告検出部220bは逆に、まずあるユーザを想定する。つづいてそのユーザにふさわしい広告を選択する。このときも個人情報カード450が利用される。たとえば図12に示す個人情報カード450を持つユーザについて広告を選択する際、そのユーザの趣味がドライブであり、頻繁にアクセスした分野が音楽や旅行であるとわかる。したがって、図16に示す広告470の複数のアイテム472、474等から「ドライブ」「音楽」「旅行」等の言葉、またはそれらに関連する言葉を含むアイテムを選択する。図16のごとく、あらかじめアイテム472、474等が「分類」という情報レコードを有していればその分類をもとに広告を選択してもよい。

【0078】

ユーザベース広告検出部220bはさらに、ユーザのプロファイル、たとえば年齢、住所、職業等からそのユーザが興味を持ちうる広告を選択することもできる。ユーザのプロファイルからある程度その消費傾向を推測することができるためである。ユーザのプロファイルを利用した選択は、当然ながら広告ベースユーザ検出部220aでも行うことができる。

【0079】

一方、求人情報に関する選択は、求人条件マッチング判定部220cで行われる。求人条件マッチング判定部220cは、ユーザスキル判定部220dとユーザ嗜好判定部220eとユーザスケジュール判定部220fを含む。ユーザスキル判定部220dは求人情報に明示的または暗黙的に含まれる求人の条件と整合するスキルを有するユーザを選抜する。

【0080】

たとえば図15の求人情報460の第二のアイテム464は、職務の内容がP Cの設計である。したがって、現在または過去の職歴にP Cの設計、情報機器の開発等が記載されているユーザがまず選抜される。求人条件として年齢や資格の有無が定められている場合、それらの条件も併せて満たすユーザが選抜される。ユーザの選抜にあたり、あらかじめ求人情報を作成した企業に、ユーザを探索する際のキーワードを選定させてもよい。

【0081】

ユーザ嗜好判定部220eは、求人の職務のジャンルに嗜好があうユーザを選抜する。たとえば求人内容が図15の求人情報460の第一のアイテム462のように、音楽に関連するアルバイトであれば、個人情報カード450をもとに音楽に興味を持ちうるユーザが優先的に選抜される。

【0082】

ユーザスケジュール判定部220fは、求人情報の目的時刻にスケジュールが整合するユーザを選抜する。すなわち、求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザを優先的に選抜する。そのため、ユーザスケジュール判定部220fは、スケジュール管理部222を介してスケジュールデータベース42へアクセスする。ただし、企業が比較的長期にわたる勤務、たとえば正社員としての人員を求めている場合、その条件に見合うほど長期間にわたってスケジュールが入っていないユーザはほとんど存在しないと考えられる。したがってその場合、ユーザスケジュール判定部220fは比較的短期の勤務に関する求人情報についてユーザを選抜してもよい。

【0083】

以上、この探索部220によれば、広告を流したときの効果が大きいと思われるユーザをあらかじめ絞り込むことができ、そうしたユーザに集中的に広告を流すことができる。逆にユーザから見た場合、配信されてくる広告はいずれも比較的自分の興味をひくものであり、氾濫する情報の中で自分が欲する情報を見失う危険性が減る。

【0084】

求人情報については、求人情報マッチング判定部 2 2 0 c の作用により、企業における応募者の選抜の手間を軽減できる。ユーザスキル判定部 2 2 0 d は企業における応募者の書類選考を一部代行しうる。ユーザから見ても、自分のスケジュールが空いているときに自分が比較的兴趣を持ちやすい仕事が表示されるため、効率的に良質の求人情報を得ることができる。

【0 0 8 5】

すなわち、探索部 2 2 0 はユーザのために広告と求人情報をスクリーニングする機能を提供し、同時に企業に対して効果的なマーケティングおよび人材の確保のスクリーニング機能を提供する。しかも、こうした広告や求人情報がスケジュールにリンクされた形で提供されるため、ユーザによる情報の活用極めて高い利便性を与える。流動性のある労働力の効率的かつ迅速な確保が企業の存続に影響を与える今日、この実施の形態の意義は大きい。

【0 0 8 6】

図 1 9 は送信データ生成部 2 0 8 によって生成された送信データ 5 0 0 を示す。送信データ 5 0 0 は、ヘッダ情報の一部であるユーザ／グループアドレス 5 0 2、スケジュール 5 0 4、広告 5 0 6、求人情報 5 0 8 を含む。ユーザ／グループアドレス 5 0 2 は、探索部 2 2 0 によって特定された、スケジュール 5 0 4 等を送信すべきユーザまたはグループのアドレスである。ただし、グループのアドレスは各ユーザと別個に存在する必要はなく、そのグループに属する複数のユーザの複数のアドレスの集合体であってもよい。スケジュール 5 0 4、広告 5 0 6、求人情報 5 0 8 はそれぞれの中に目的時刻を含むよう生成される。ただし、送信データ生成部 2 0 8 は必ずしも目的時刻を含めた形でスケジュール 5 0 4 等を記述する必要はない。その場合、クライアント側のスケジュール通信装置 1 4 の目的時刻判定部 1 1 0 がスケジュール取得部 1 0 4 を介して目的時刻を問い合わせる構成としてもよい。すなわち、目的時刻の最終的な確定は、送信データ生成部 2 0 8、クライアント側のスケジュール取得部 1 0 4 および目的時刻判定部 1 1 0 の間で分担することができる。

【0 0 8 7】

図 2 0 は課金管理部 2 4 6 の内部構成を示す。この実施の形態では、課金は広

告または求人情報のユーザへの配信を要請した企業に対して行われる。企業サーバ識別部 246e は求人情報、または広告の配信を依頼した企業サーバを特定する。特定された企業サーバごとにテーブル 248 の中に課金情報が生成される。

【0088】

求人情報カウンタ 246a は企業サーバから依頼された求人情報、またはそれに含まれる求人アイテムを計数する。同様に広告カウンタ 246b は企業サーバから依頼された広告またはそれに含まれる広告アイテムを計数する。これらのカウンタによるカウント値にそれぞれ単価がかけられ、課金情報が生成される。

【0089】

この実施の形態ではさらに、企業が探索部 220 によるユーザの探索を依頼したとき、探索の内容や回数によって料金が加算される。探索加算部 246c はそのための計算を行う。たとえばユーザを選抜する際の条件の数に単価をかけて加算額を決定する。その他、探索に要した時間等をもとに加算額を決定してもよく、この部分も設計の自由度が高い。

【0090】

課金情報管理部 246 はさらに関連情報アクセスカウンタ 246d を有する。このカウンタは、広告または求人情報を受信したユーザがその関連情報にアクセスした回数を記録する。この回数が多いほどユーザが高い興味を示したことになるので、前述のごとく一種の成功報酬として料金が加算される。以上、全ての料金が合計されこの企業に対する課金額がテーブル 248 へ格納される。

【0091】

以上のスケジュール通信システム 10 によるスケジュールの通信およびそれに伴う広告と求人情報の配信処理について具体的に説明する。

【0092】

図 21 は、ユーザがスケジュールを確認するときに PC 12 のディスプレイに表示される初期画面 300 を示す。ここではスケジュールを確認するための個人識別情報入力画面 302 が表示されている。ユーザは、個人としてのスケジュールにアクセスしたい場合には個人に関する ID (PID) およびパスワード (PPW) を入力する。一方、自分が所属するあるグループのスケジュールを見たい

特 2 0 0 0 - 1 2 0 0 0 4

場合には、グループのID（GID）およびそのパスワード（GPW）を入力する。

【0093】

図22は、ユーザが携帯電話16を用いてスケジュールを確認する際に表示される初期画面360を示す。携帯電話の場合、個人のIDは契約者番号（電話番号）によって特定することができるため、ここでは単にパスワードを入力すればよい。同図ではパスワードの入力窓をひとつだけ描いているが、当然グループのパスワードを入力可能としてもよい。以下、PC12を用いるときと携帯電話16を用いるときで本質的な相違はないため、PC12を用いる例を中心に説明する。

【0094】

図23は、ユーザが正しく認証された後表示されたスケジュールである。スケジュール表示画面332は、告知制御部120の表示制御部122の作用により、今日、今週、または今月のスケジュールが切り替え可能に表示される。これらの切り替えは「今日」のタブ310、「今週」のタブ312、「今月」のタブ314によって切り替え可能である。

【0095】

図23は、今日のスケジュールを示している。スケジュール表示画面332の左半分は主に時経列に並べられたスケジュールに関する。一方右半分はスケジュールに対する補足情報を表示し、たとえばメモ、友人等のアドレス、スケジュール帳の任意の場所に貼り付けることが可能な各種マークを取めたシールの画面が選択できる。選択は「メモ」タブ316、「アドレス」タブ318、「シール」タブ320によって行われる。

【0096】

まず左画面において、「今日」のスケジュールが選択されているとする。そのとき今日の日付11月27日が表示され、その下に今日の予定が表示されている。今日の予定の欄は、目的時刻の欄340とスケジュールを象徴的に表すシンボルの欄342とスケジュールの内容を示す欄344を含む。シンボルの欄342には、四角、三角、丸の3種類のシンボルが記入されている。たとえば四角は個

人のプライベートな予定に関連し、丸は仕事に関連し、三角は企業から送られた広告を示す。この図の場合、このユーザは11時にスポーツクラブの予約をし、13時にアルバイトに入る。16時に記述された「miniライブAAA in 横浜」は、このユーザが興味を持ちうるとして選択された広告である。この場合、このユーザはたとえば「AAA」というロックグループのファンクラブに入っていた可能性がある。このように広告はその目的時刻にしたがってユーザのスケジュールの中に組み込まれて表示される。

【0097】

ユーザのスケジュールが表示された「今日の予定」の欄外に「11/28 ×××でチケット購入バイトあり」という表示がなされている。これはこのユーザが興味を持つとして、またはこのユーザの予定が空いている日に相当するとして選択された求人情報である。この情報の前に丸印346が付され、これが仕事すなわち求人情報に関連することが明示されている。ただし、ユーザ自身が行っている仕事、たとえば13時に入るアルバイトと区別するために、丸印346の色を変える等の工夫をなしてもよい。

【0098】

この求人情報にはリンク348がはられており、ユーザはその部分をクリックすることによりこのアルバイトのより詳細な情報を確認することができる。

【0099】

なお、「今日の予定」のスケジュールの欄は「日記」の表示と切り替えが可能である。また今日の日付「11/27」および「今日の予定」以外の余白部分にユーザが望む任意のキャラクターまたは画像を表示する構成としてもよい。そうしたキャラクターや画像は広告を流す企業が低額または無償で提供してもよい。

【0100】

一方、スケジュール表示画面332の右画面は、現在メモを表示する状態になっている。ここではこのユーザが11時に予約をすべきスポーツクラブの電話番号がメモとして書き込まれている。右画面にはサーバから最新情報を取り寄せるためにクライアントとサーバの間でコネクションを確立するための接続ボタン322が設けられている。ユーザがこの接続ボタン322を押すと、このPC12

はダイヤルアップ等任意の接続方法でインターネットに接続し、サーバから最新の広告や求人情報等を受信する。

【0101】

ユーザがスケジュールの確認や更新をするときにもこの接続ボタン322を押せばよい。接続ボタン322が押されたとき、その旨が図5のスケジュール取得部104のユーザ起動アクセス部104bに伝えられる。一方、ユーザが接続ボタン322を押さない場合であっても、この実施の形態ではタイマー150の作用により、定間隔アクセス部104aを介してユーザのスケジュール等が取得される。

【0102】

図24はスケジュール表示画面332の別の状態を示す。左画面では、「今週」のスケジュールが選択されており、11月7日から13日の1週間のスケジュールが表示されている。ここでも個人のスケジュールが表示される他、11月1日には「BBBニューシングル発売」という広告が表示されている。また、スケジュールの領域の欄外には「ABCレコードセール中(11/6-12)」という広告も表示されている。この広告にもリンク348が設定され、関連情報へのアクセスが可能となる。

【0103】

一方、右画面では「シール」の画面が選択されている。ここでは「かいもの」を示す象のシンボル350をはじめ、いろいろな行動予定やスケジュールに関連することばに画像シンボル350が与えられている。これらのシンボル350はスケジュールをより簡潔に、かつわかりやすく表示するためにスケジュールの中に貼り込むことができる。また、これらのシンボル350をそのままシール用紙にハードコピーすることにより、実際にシールとして利用することもできる。これらのシンボルも、ユーザが自ら描きうる他、広告等を提供する企業から無償でダウンロードできる構成としてもよい。

【0104】

図25はスケジュール表示画面332のさらに別の状態を示す。まず左画面において、「今月」のスケジュールが選択され、1999年11月の1ヶ月のスケ

ジュールが表示されている。この場合スケジュールの内容を書き込むスペースがないため、先に導入した四角、丸、三角のシンボル 3 4 2 のみを表示している。この状態で任意の日付をクリックすることでその日のスケジュールを表示する構成としてもよいし、任意のシンボル 3 4 2 をクリックすることでそのシンボルに対応するスケジュールの内容を表示する構成としてもよい。当然ながら、シンボルの形状や色もユーザごとに任意に設定できる構成としてもよい。

【 0 1 0 5 】

図 2 6 はユーザが携帯電話 1 6 を利用する際スケジュールの確認のために現れる画面 3 6 0 を示す。この画面 3 6 0 は、図 2 3 のスケジュール表示画面 3 3 2 の左画面に対応する。一般に携帯電話 1 6 は表示画面が狭いため、PC 1 2 のディスプレイに表示されるスケジュールのための画面の任意のサブセット、または携帯電話 1 6 に特化した画面を表示させればよい。

【 0 1 0 6 】

図 2 7 は、ユーザがスケジュールを確認する際の手順を示すフローチャートである。ユーザはまずスケジュール取得部 1 0 4 を用い、スケジュール確認の要求を送信する (S 1 0)。広告サーバ 3 6 のスケジュール要求受付部 2 2 4 はユーザから発信された要求を受け付ける (S 1 2)。つづいて、認証部 2 2 6 がユーザを認証する (S 1 4)。認証が正しく終われば、スケジュール管理部 2 2 2 によりそのユーザのスケジュールがスケジュールデータベース 4 2 から読み出され (S 1 6)、これが送信データ生成部 2 0 8 へ送られる。送信データ生成部 2 0 8 は、送信データ 5 0 0 を生成し (S 1 8)、これを通信 I / F 部 2 0 2 へ送る。送信データ 5 0 0 は通信 I / F 部 2 0 2 から通信部 2 0 0 へ送られ、ユーザへ送信される (S 2 0)。

【 0 1 0 7 】

ユーザは送信された送信データ 5 0 0 を通信部 1 6 2 および通信 I / F 部 1 1 2 を介してスケジュール取得部 1 0 4 にて取得する (S 2 2)。つづいて、目的時刻判定部 1 1 0 においてスケジュール、および存在する場合の広告と求人情報の目的時刻を判定する (S 2 4)。つづいて、告知制御部 1 2 0 においてスケジュールその他の情報のカレンダー表示がなされる (S 2 6)。ユーザはカレンダー表

示されたスケジュールその他の情報を見ることにより、自らのスケジュールおよび広告または求人情報を確認することができる（S28）。

【0108】

図28、図29はスケジュールを確認する際に広告も表示するための手順を示すフローチャートである。広告をユーザに配信する準備として、まず企業サーバ52から広告サーバ36へ広告470が送信される（S100）。広告サーバ36は、受信した広告470のセグメント化と格納を行う（S102）。ここでセグメント化とは、後に必要な広告をより簡単に探索すべく、その広告に必要なキーワードを与えることをいう。ただし、広告470が企業サーバ52から送られてきた時点ですでにこうした分類のためのキーワードが付与されている場合、セグメント化は必要ない。広告470は、広告管理部250を介して広告データベース50に格納される。

【0109】

つづいて個人情報管理部210を介して個人情報データベース44を読み出し、目的ユーザを探索する（S106）。ここで目的ユーザとは、先ほどの広告を送信すべきユーザをいう。この探索は個人情報カード450をもとに探索部220によって行われる。以上で広告を配信するための準備が完了する。

【0110】

ここでユーザがスケジュール確認の要求を発信したとする（S10）。広告サーバ36はこの要求を受け付け（S12）、ユーザを認証し（S14）、そのユーザのスケジュールを読み出す（S16）。ここで、このユーザが先ほどの広告の目的ユーザであるか否かにより処理が異なる（S108）。目的ユーザであれば、送信データ500にスケジュールのみならず広告を格納し、データTD1を生成する（S110）。一方、目的ユーザでなければ、広告を格納せずにデータTD2を生成する（S112）。こうして生成された送信データ500はユーザに送信される（S20）。

【0111】

ユーザは、送信データ500、すなわちデータTD1またはTD2を受信する（S22）。つづいてそのスケジュールおよび必要な場合には広告の目的時刻を

判定する（S24）。スケジュール等の情報はカレンダー表示され（S26）、ユーザはスケジュール等の情報を確認する（S28）。かりに、ユーザが表示された広告に興味を示したとき、ユーザは関連情報、すなわち詳細広告の表示を要求する（S120）。この要求は、関連情報アクセス部160により発信される。この要求は関連情報指示部230のアクセス検出部230aにより検出される。キャッシング部230bは、ユーザに詳細な情報を送るべくアクセスがあった旨を企業サーバ52へ取り次ぐ（S122）。それと並行して、アクセス情報分析部230cによりユーザがアクセスした情報の内容の判定およびアクセス回数のカウントが行われる（S124）。

【0112】

企業サーバ52または企業のホームページは、ユーザに求められた関連情報、すなわち詳細広告をユーザに直接、またはWWWサーバ34を介して、または広告サーバ36を介して送信する（S126）。詳細広告を受信したユーザはその内容を確認する（S128）。

【0113】

なおここでは、まず広告を仮定してユーザを選択したが、当然これは逆であってもよい。すなわちユーザを先に仮定し、そのユーザにふさわしい広告を選択する構成であってもよく、その処理については図18の探索部220の広告ベースユーザ検出部220aまたはユーザベース広告検出部220bのいずれかの機能によって実現される。

【0114】

図30は広告サーバ36からユーザへ向けて求人情報を発信する手順を示すフローチャートである。ユーザに求人情報を配信する準備として、まず企業サーバ52が広告サーバ36へ求人情報を発信する（S200）。求人情報は求人情報受付部206で取得される（S202）。つづいて個人情報管理部210が個人情報データベース44から個人情報を読み出す（S204）。個人情報は個人情報カード450として探索部220へ送られる。スケジュール管理部222はユーザのスケジュールをスケジュールデータベース42から読み出す（S206）。スケジュールの情報も探索部220へ送られる。

【0115】

探索部220は目的ユーザを探索する(S208)。まず個人情報をもとに、求人条件マッチング判定部220cのユーザスキル判定部220dおよびユーザ嗜好判定部220eがユーザの絞り込みを行う。つづいてユーザスケジュール判定部220fが求人情報の目的時刻にスケジュールが入っていないユーザを選抜する。送信データ生成部208は、目的ユーザのアドレスを格納して送信データ500を生成し、これを通信I/F部202および通信部200を介してユーザに発信する(S210)。

【0116】

ユーザはその求人情報取得部108により、広告サーバ36から送られた求人情報を取得する(S212)。求人情報は目的時刻判定部110および告知制御部120による処理を経てカレンダー表示される(S214)。ここではかりにユーザが求人に応募するとする(S216)。応募は求人応答部114を介して行われる。応募はいったん広告サーバ36へ送られ、求人応答受付部240で取得され、バッファメモリ242へ格納される。つづいて、応募があった旨が求人応答受付部240から通信I/F部202および通信部200を経て企業サーバ52へ取り次がれる(S218)。この後、企業とユーザの間で任意の雇用契約が結ばれる(S220)。

【0117】

なお、ここでは任意のタイミングで求人情報がユーザへ送信される例を示したが、当然ユーザがスケジュールを確認した際にこれを送信する構成としてもよい。この例でも求人情報を仮定し、それにふさわしいユーザを探索することにしたが、まずユーザを仮定しそのユーザに適合する求人情報を選択する構成としても何ら差し支えはない。

【0118】

以下、実施の形態の変形例のいくつかを挙げる。

求人情報に関する目的時刻は、勤務時間でなくともよい。スケジュール通信装置14、38は、たとえば就職シーズンにおいて、いろいろな会社の説明会や面接の時間を目的時刻としてスケジュール内に流し込んでもよい。この場合、求人

情報は広告と把握されてもよい。ユーザは希望する職種、勤務場所、勤務時間、給与、その他の条件を予め登録しておくことにより、膨大な求人情報の中から必要な情報をタイムリーに探し出すことができる。実施の形態では、すでに予定の入っているユーザには求人情報を送らないとしたが、その場合にも、状況によって送ってもよい。ユーザのスケジュール通信装置14の告知制御部120は、そうした情報を別の色や薄い色で表示したり、ユーザのスケジュールよりも下または通常よりも小さく表示するなど、もともとのユーザのスケジュールが優先的に把握できる表示制御機能をもってもよい。とくに、ユーザにとって重要な情報、たとえば第一志望の会社の面接日時などは、たとえスケジュールが入っていても、ユーザはいち早く知りたいはずである。そのためクライアント側に、自分のスケジュールとバッティングする情報の表示可否を決めるオプション機能を設けてもよい。

【0119】

スケジュール通信装置14、38は、入学試験その他の試験に関する情報も求人情報または広告の一種として扱ってもよい。たとえば、希望する学校の条件をオンラインのアンケートその他の方法で登録しておくことにより、その学校の試験日程等をスケジュールに流し込む構成としてもよい。受験機関や塾が、カリキュラムをスケジュールの中に表示すべくスケジュール通信装置14、38を利用してもよい。カレンダーへ流し込むべき広告や求人情報、またはそれにリンクされた関連情報がある程度大きなデータになる場合、メインサーバ32側でその情報を整形してユーザのスケジュール通信装置14へ電子メールで送信してもよい。

【0120】

試験、受験などに限らず、ユーザは自分が興味をもつ情報のキーワードをアンケート等によって登録しておくことにより、そのキーワードにヒットする情報を広告としてスケジュール内に受信してもよい。そのために、例えば個人情報入力部116でキーワードを受け付け、これをサーバ側の個人情報管理部210で保持し、探索部220によって広告またはその中のキーワードと照合する。その結果、ヒットした情報がユーザへ広告として送られ、これがスケジュールの目的時

刻に沿って告知される。課金管理部 246 は、より多数のキーワードがヒットしたユーザへの広告配信単価をより高く設定して広告費を企業へ課金してもよい。

【0121】

目的時刻は、広告の対象となるセールスの開催日時など、イベントに密着した客体的な要因で決める必要はなく、たとえば企業が広告をユーザに見せたい日時のような主体的な要因で決めてもよい。その場合、広告を打つ企業は、「10月10日の午前10時の枠に広告を入れたい」という要望を出せばよく、その日時が目的時刻として扱われる。求人情報も同様である。サーバ側のスケジュール管理部 222 は、広告や求人情報を送るべきターゲットユーザのスケジュールが比較的あいている日時を検出し、その日時を目的時刻として広告または求人情報を出す企業を募ってもよい。そうして配信された広告は、ユーザのスケジュール通信装置 14 のカレンダーの当該日時に流し込まれる。このように、ユーザのスケジュールの空隙を埋める形の広告や求人情報については、カレンダー外で告知される広告よりも広告費を安価に設定する方法もある。

【0122】

実施の形態では、求人情報がユーザの空いている時間帯に送られたが、逆にユーザが、スケジュール通信装置 14 によって、自ら働きたい日時や希望職種、すなわち「逆求人情報」ともいうべき労働力提供情報を送信してもよい。その場合、スケジュール通信装置 14 のスケジュール登録部 102 などに、ユーザがカレンダー表示の中に働きたい時間帯と希望等の付加情報を入力する機能をもたせればよい。この労働力提供情報は、メインサーバ 32 を介して企業サーバ 52 へと転送される。

【0123】

実施の形態では、ユーザを個人として認証する機能と、グループとして認証する機能を述べた。自分自身やその属するグループのスケジュールのみならず、たとえば自分がある音楽バンドのファンクラブに入っている場合、そのバンドのスケジュールを確認可能としてもよい。すなわち、まったく他人のスケジュールを所定の手続きを経て確認できる構成も可能である。その場合、そうしたアクセスを許す会員に特別な ID やパスワードを設定してもよい。また、特別な課金管理を

行ってもよい。課金の多様性については、実施の形態のさまざまなサービスにおいて同様である。

【0124】

ユーザを個人またはグループとして認証する以外に、ユーザがスケジュールを入力する際、「パーソナル」「ビジネス」「全部公開」というような選択をすることで、それぞれ「ごく親しい仲間」「仕事関係者」「自分のスケジュールを見たい全員」に対してスケジュールを公開することができる。この場合クライアントであるスケジュール通信装置14は、ユーザが入力するスケジュール情報の公開度に関するユーザの指定を受け付ける機能をもてばよく、サーバ側システムのスケジュール通信装置38はその公開度をもとに、スケジュールにアクセスを希望するユーザにアクセスを許すかどうか判定する機能をもてばよい。別の方法として、各ユーザは「パーソナル」「ビジネス」「全部公開」について別々のキーワードを設定し、相手にそれらのいずれかのキーワードを教えることで、所望の公開度でスケジュールを共有することができる。なお、これら任意のパスワードは、各ユーザのスケジュール通信装置14のメモリ（図示せず）に保存していてもよく、その場合、パスワードを忘れる心配がなくなる。

【0125】

ユーザによるスケジュール確認を容易にするために、決まった時刻、たとえば朝早い時間に、サーバ側のスケジュール通信装置38はその日のユーザのスケジュールを電子メールでユーザに送信する構成をもってもよい。

【0126】

ユーザのスケジュール内に広告や求人情報を流し込む際、その数に上限を設けてもよい。その上限はユーザが設定可能としてもよい。あまりにも多数の広告等がユーザのカレンダーに流し込まれる事態を予防するためである。この場合、たとえばクライアントのスケジュール通信装置14の告知制御部120や広告取得部106、その他任意の箇所で広告等の数が上限に達したらそのカレンダー等への組込みまたは告知を中止、中断する等の措置をとることができる。

【0127】

ユーザが入力するスケジュールの量や流し込まれる広告の量に応じて、カレン

ダーの日、週などの枠の大きさを可変としてもよい。たとえば、日曜に予定が多くなるユーザは、当然日曜の枠が大きいほうが都合がよい。したがって、告知制御部120のカレンダー表示部124は、表示すべき情報量を検出する機能と、その情報量に応じて可変にカレンダーを表示する機能を備えればよい。

【0128】

スケジュール管理プログラムは、すでにいくつか市販されるか、WWW上で利用可能になっている。また、PC等を購入するとき、プリインストールされているときもある。そうした他のスケジュール管理装置との連携をとるために、クライアントのスケジュール通信装置14は、他のスケジュール管理装置との間でユーザのスケジュールデータをインポートまたはエクスポートするためのデータフォーマット変換部を備えてもよい。

【0129】

ニュースも広告の一種として配信することができる。たとえば、2000年4月27日午後8時のニュースの見出しをユーザのスケジュールの該当日時に流し込んでもよい。その場合、目的時刻判定部110は、ニュース配信の時刻またはニュースのもととなったできごとの発生時刻、たとえば地震の発生時刻など、ニュースに関連する時刻を目的時刻と把握すればよい。

【0130】

クライアント側のスケジュール通信装置14は、ユーザが期限のあるスケジュールをカレンダーに記入するための機能を例えばスケジュール登録部102に備えてもよい。たとえば、5月10日までに提出のレポートがあるとき、「5月10日」の欄に「期限付き」という属性を指定して「レポート提出」と記録しておく。ユーザがこの記録を消さないうちに所定の日時、たとえば一週間前に当たる5月4日になったとき、タイマー150と告知制御部120などの協働により、ユーザに警告を出す構成としてもよい。

【0131】

自分が追跡したい人の居場所をスケジュールカレンダーの中に記録していてもよい。たとえば、タイマー150によって一定時間ごとに自分の子供に持たせたPHS端末の位置発信機能を利用してその位置を検出し、子供の行動記録を自

分またはその子供のカレンダーへ書き込むことができる。このために、スケジュール通信装置 14、38 の通信部に、位置検出結果を受信する機能をもたせ、目的時刻判定部 110 に、その場所にいた時刻を目的時刻として検出する機能をもたせればよい。

【0132】

前記通信部は、ユーザ本人の居場所を自動的に検出し、これをそのユーザのカレンダーへ書き入れていく構成であってもよい。その場合、ユーザは自分の行動日誌を自動的にログファイルとして形成していくことができる。自身の居場所の検出に GPS システムを利用してもよい。

【0133】

天気予報を広告としてカレンダーの対応する日時に流し込んでいってもよい。たとえば、5月5日の欄に「晴れ」のマークを入れたり、5月5日の詳細なスケジュールの欄に時刻ごとに変化する天気の予報を、例えば午前10時の箇所に「晴れ」、午後3時の箇所に「曇り」というように詳細に入れてもよい。これらのマークの近傍に、小さくスポンサーの表示を入れることにより、広告価値が生じる。なお、天気予報のように地域に依存する情報を配信する場合は、登録されているそのユーザの住所を手かりにするほか、ユーザがスケジュールに書き込んだ地名をメインサーバ 32 側で識別して「横浜は晴れ」というような表示を出すほか、そのユーザのスケジュール通信装置 14 に別途設けた位置発信装置をもとに、メインサーバ 32 側でユーザの居場所に合わせた表示をすることもできる。

【0134】

天気同様、株価、為替相場その他の刻々変化する情報をユーザの登録内容にしたがって選択し、その時々情報をカレンダーに流し込んでもよい。この場合、株価等の情報も広告と考えればよい。目的時刻はその株価がついた時刻やそれを配信した時刻などである。このサービスでもスポンサーを表示することができ、またユーザは興味のある銘柄を簡便な仕組みでフォローできるため、双方に利益が大きい。

【0135】

以上のほか、たとえばユーザが求める医療、不動産、物品売買・提供、運勢、

旅行、趣味、文化などの情報を広告として配信することができ、実施の形態の応用範囲は広い。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

実施の形態に係るスケジュール通信システムの構成図である。

【図 2】

クライアント側のスケジュール通信装置の内部構成図である。

【図 3】

図 2 のユーザ識別情報入力部の内部構成図である。

【図 4】

図 2 のスケジュール取得部で取得されるデータストリームを示す図である。

【図 5】

図 2 のスケジュール取得部の内部構成図である。

【図 6】

図 2 の目的時刻判定部の内部構成図である。

【図 7】

目的時刻判定部から出力されたデータフォーマットを示す図である。

【図 8】

図 2 の告知制御部の内部構成図である。

【図 9】

サーバ側のスケジュール通信装置の内部構成図である。

【図 1 0】

図 9 の個人情報取得部の内部構成図である。

【図 1 1】

図 9 の個人情報管理部の内部構成図である。

【図 1 2】

個人情報カードを示す図である。

【図 1 3】

図 9 のスケジュール要求受付部の内部構成図である。

【図 14】

図9の認証部の内部構成図である。

【図 15】

求人情報を示す図である。

【図 16】

広告を示す図である。

【図 17】

図9の関連情報指示部の内部構成図である。

【図 18】

図9の探索部の内部構成図である。

【図 19】

図9の送信データ生成部で生成された送信データの構成図である。

【図 20】

図9の課金管理部の内部構成図である。

【図 21】

ユーザがスケジュールを確認するための初期画面を示す図である。

【図 22】

ユーザが携帯電話を用いてスケジュールを確認するための初期画面を示す図である。

【図 23】

ユーザがスケジュールを確認するために表示された画面を示す図である。

【図 24】

ユーザがスケジュールを確認するために表示された別の画面を示す図である。

【図 25】

ユーザがスケジュールを確認するために表示されたさらに別の画面を示す図である。

【図 26】

ユーザが携帯電話を利用する際に表示されたスケジュールを示す図である。

【図 27】

ユーザがスケジュールを確認するための手順を示すフローチャートである。

【図 28】

ユーザがスケジュールを確認する際広告を表示する手順を示すフローチャートである。

【図 29】

ユーザがスケジュールを確認する際広告を表示する手順を示すフローチャートである。

【図 30】

広告サーバからユーザへ求人情報を送信する手順を示す図である。

【符号の説明】

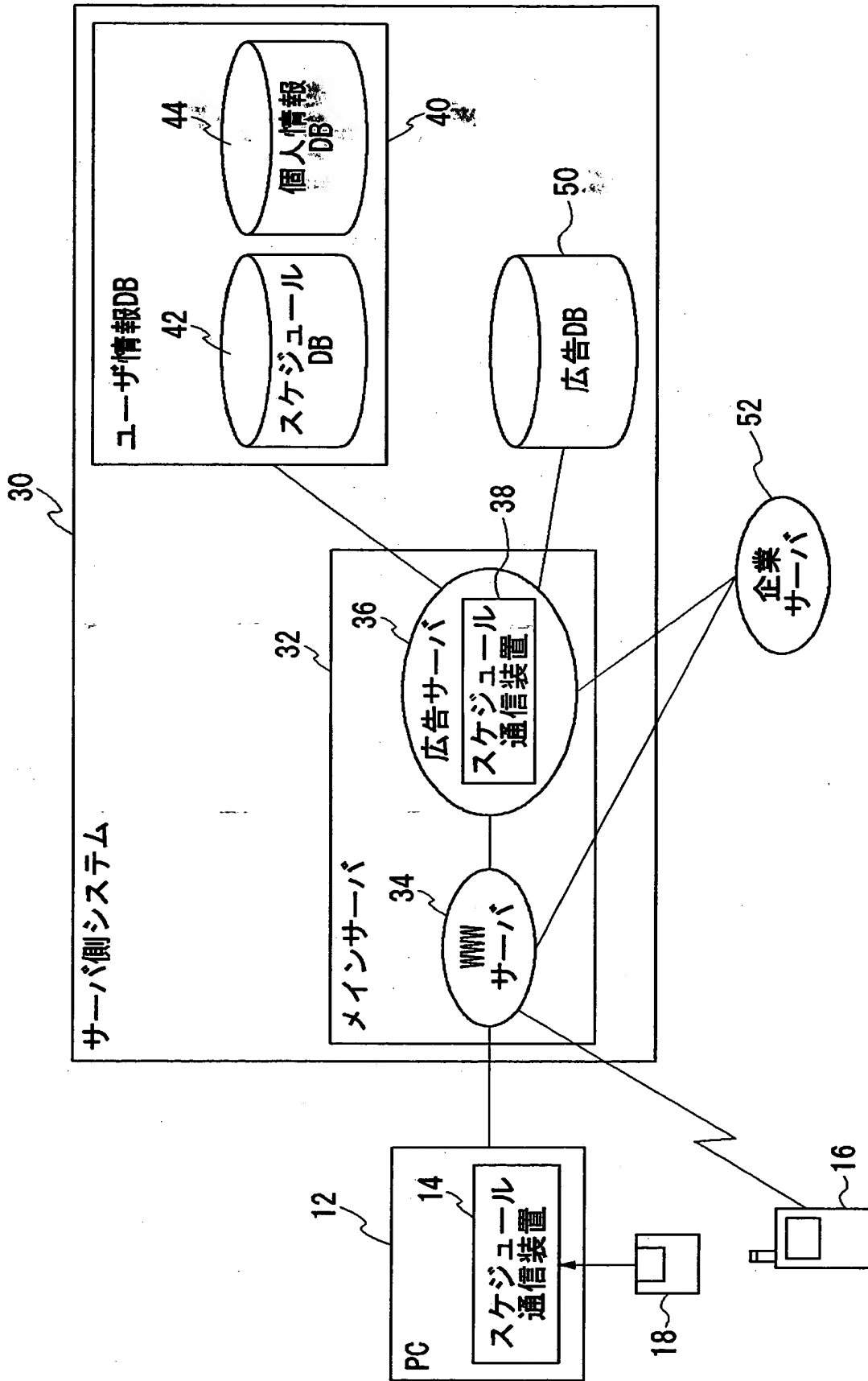
- 10 スケジュール通信システム
- 14 スケジュール通信装置
- 30 サーバ側システム
- 34 WWWサーバ
- 36 広告サーバ
- 38 スケジュール通信装置
- 42 スケジュールデータベース
- 44 個人情報データベース
- 50 広告データベース
- 100 ユーザ識別情報入力部
- 102 スケジュール登録部
- 104 スケジュール取得部
- 106 広告取得部
- 108 求人情報取得部
- 110 目的時刻判定部
- 114 求人応答部
- 116 個人情報入力部
- 120 告知制御部
- 160 関連情報アクセス部

1 2 2 表示制御部
1 2 4 カレンダー表示部
1 4 0 音声通知部
2 0 4 個人情報取得部
2 0 6 求人情報受付部
2 0 8 送信データ生成部
2 2 0 探索部
2 2 4 スケジュール要求受付部
2 2 6 認証部
2 3 0 関連情報指示部
2 4 0 求人応答受付部
2 4 4 広告取得部
2 4 6 課金管理部
5 0 0 送信データ

【書類名】

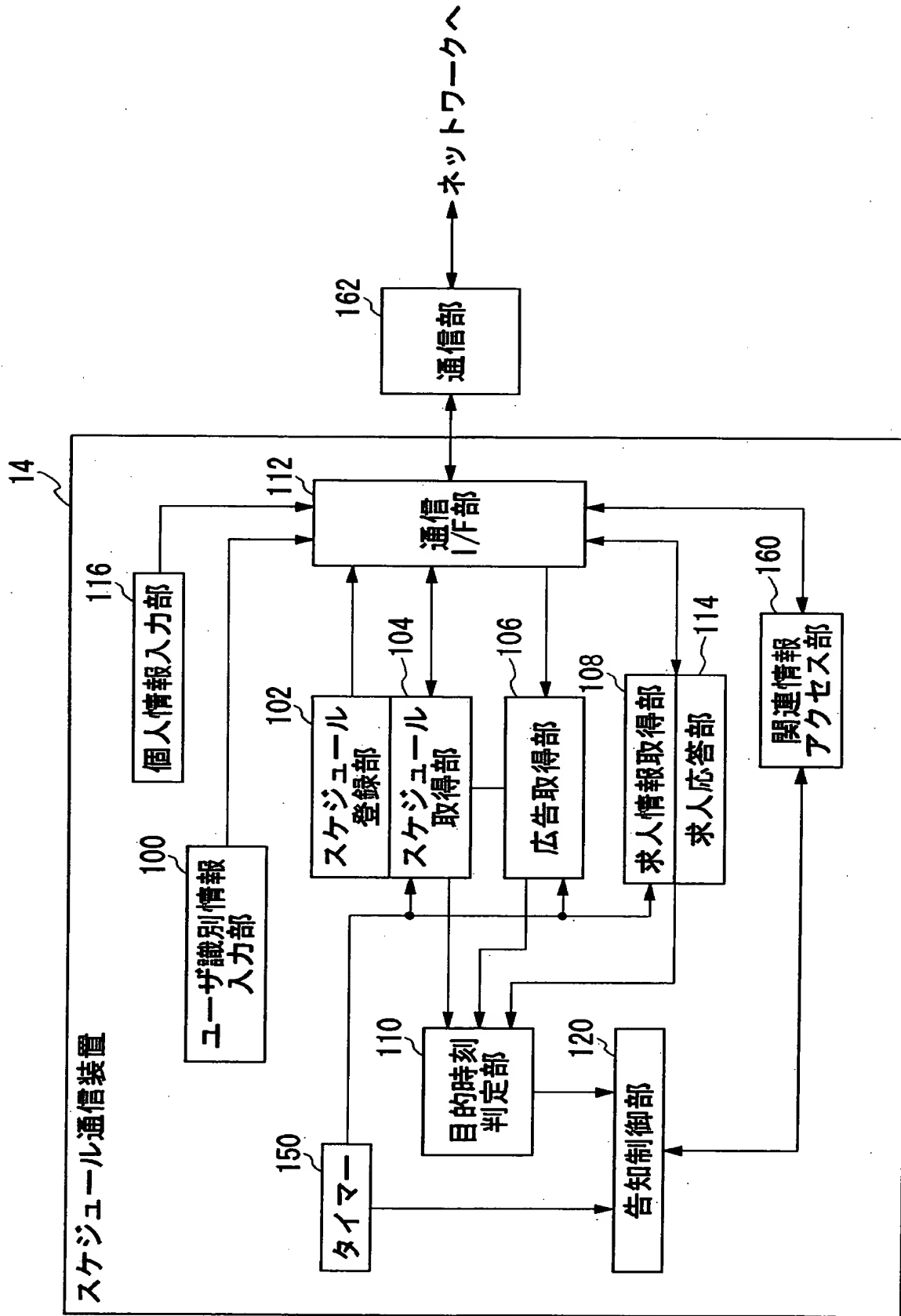
図面

【図1】

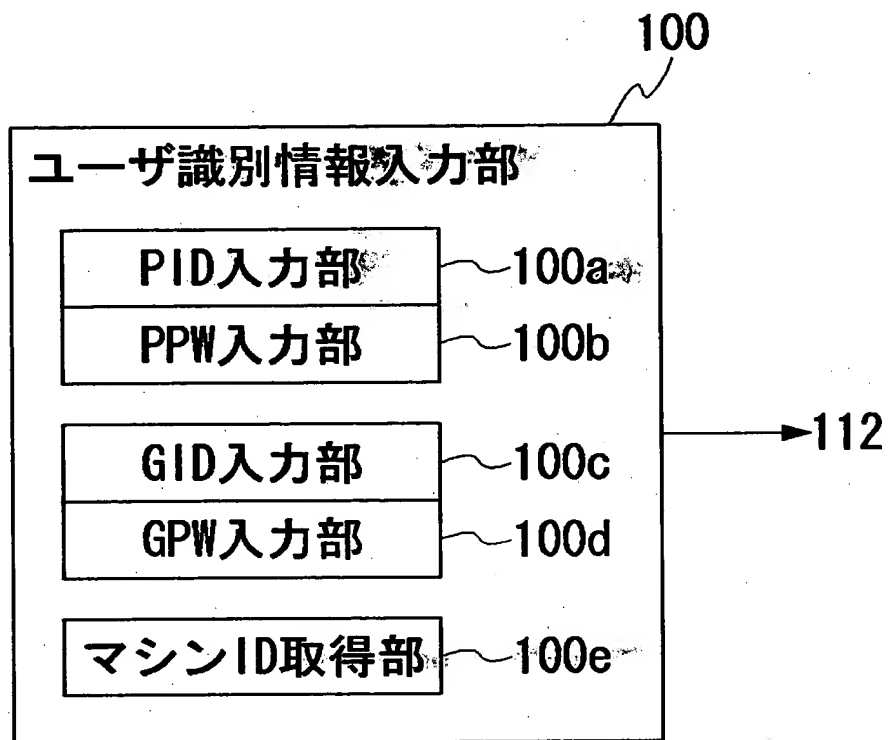


10

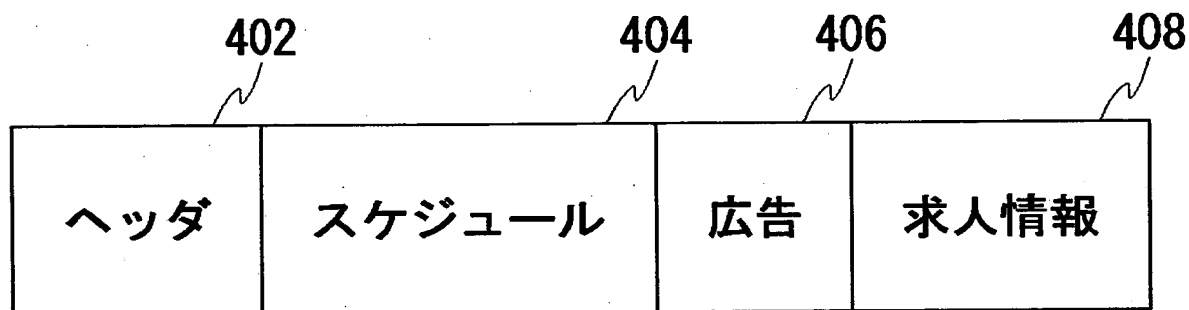
【図2】



【図 3】

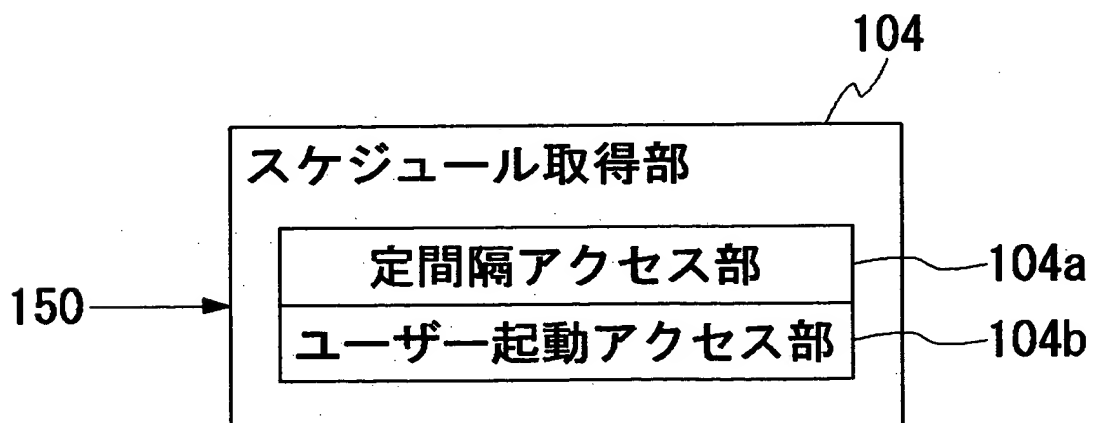


【図 4】

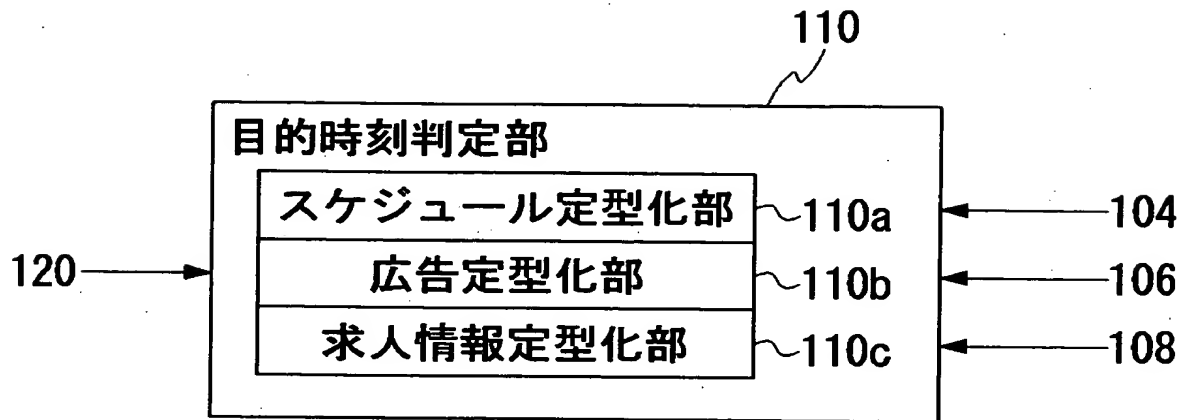


400

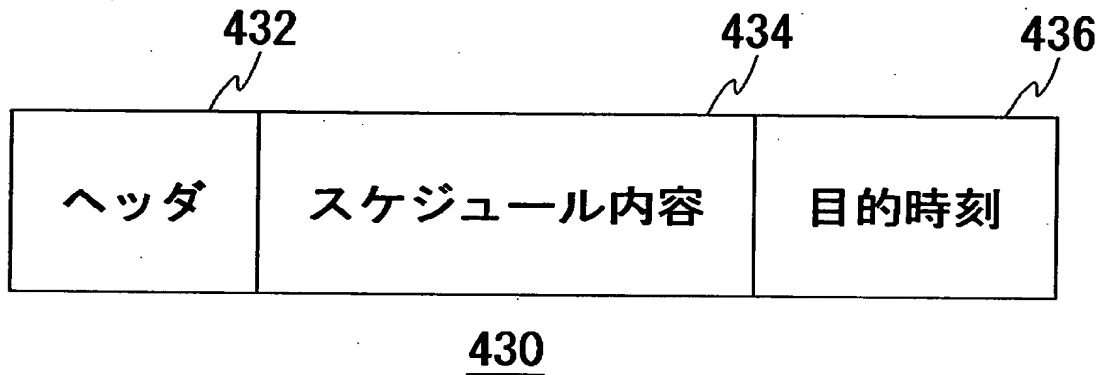
【図 5】



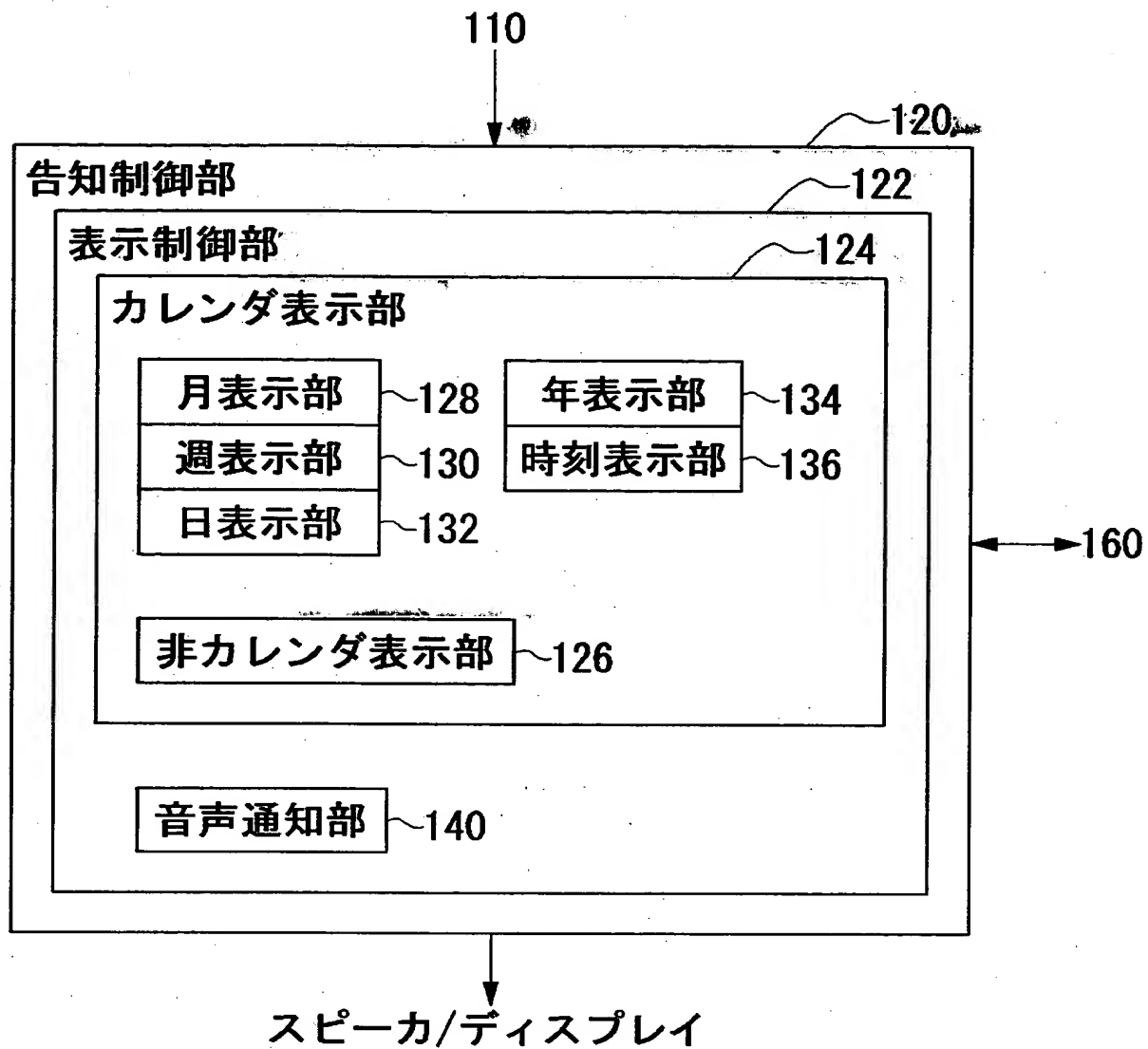
【図6】



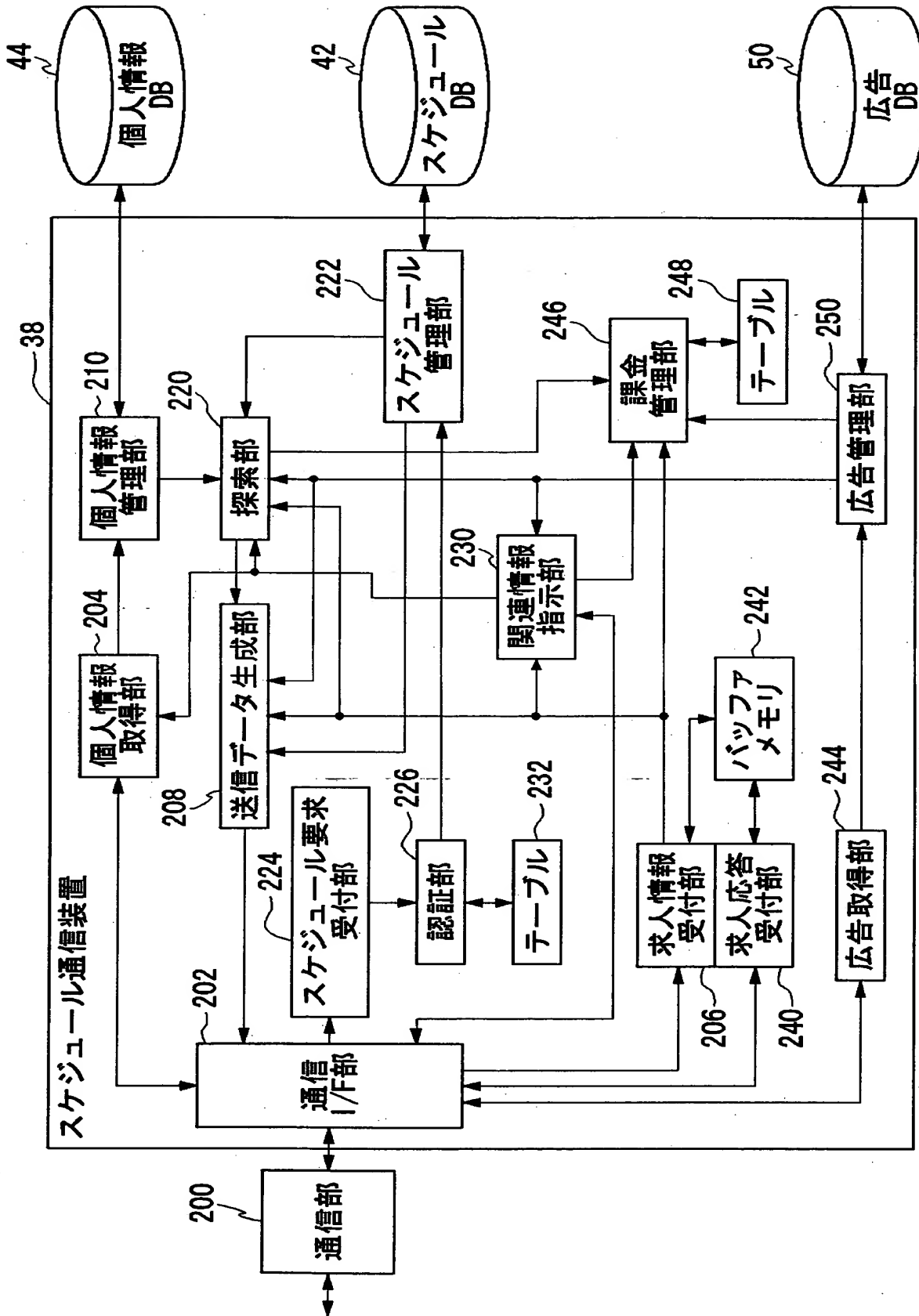
【図7】



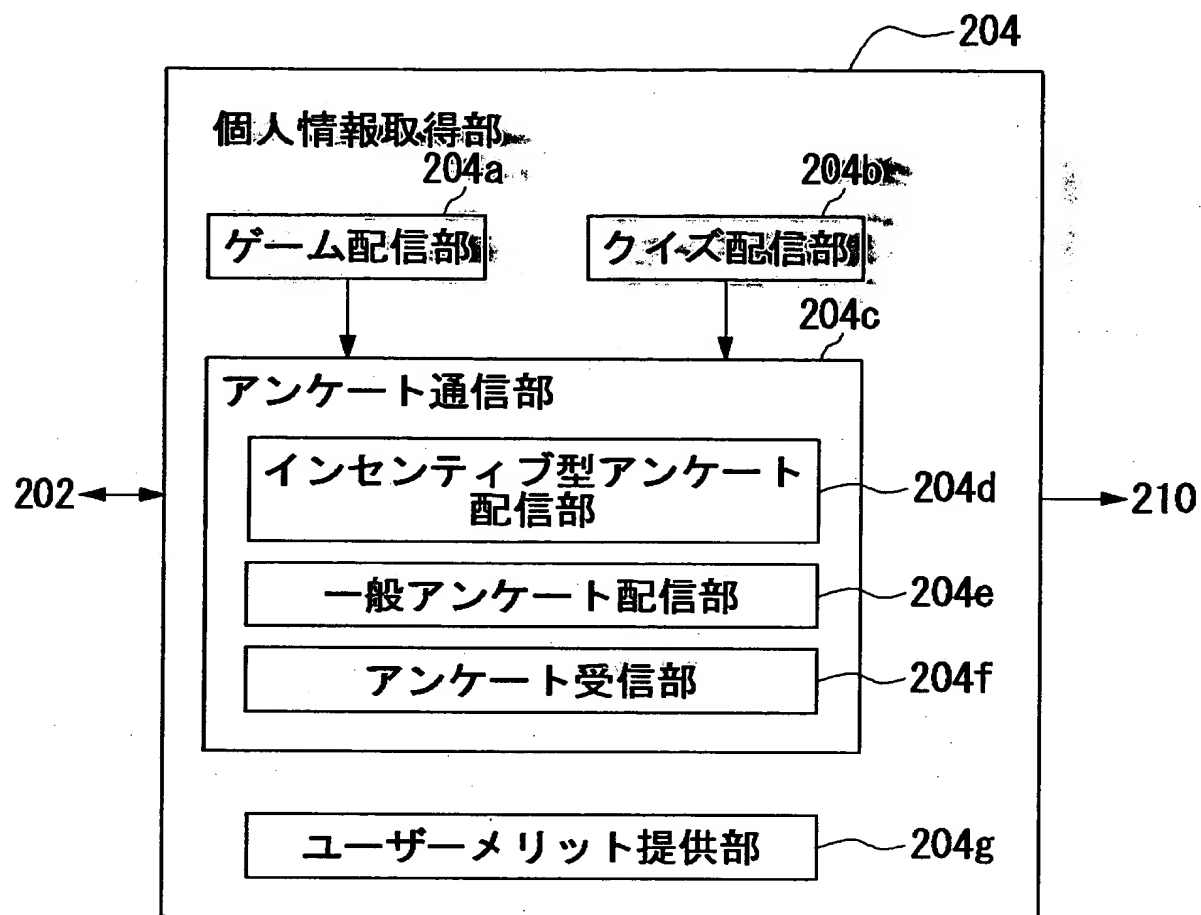
【図 8】



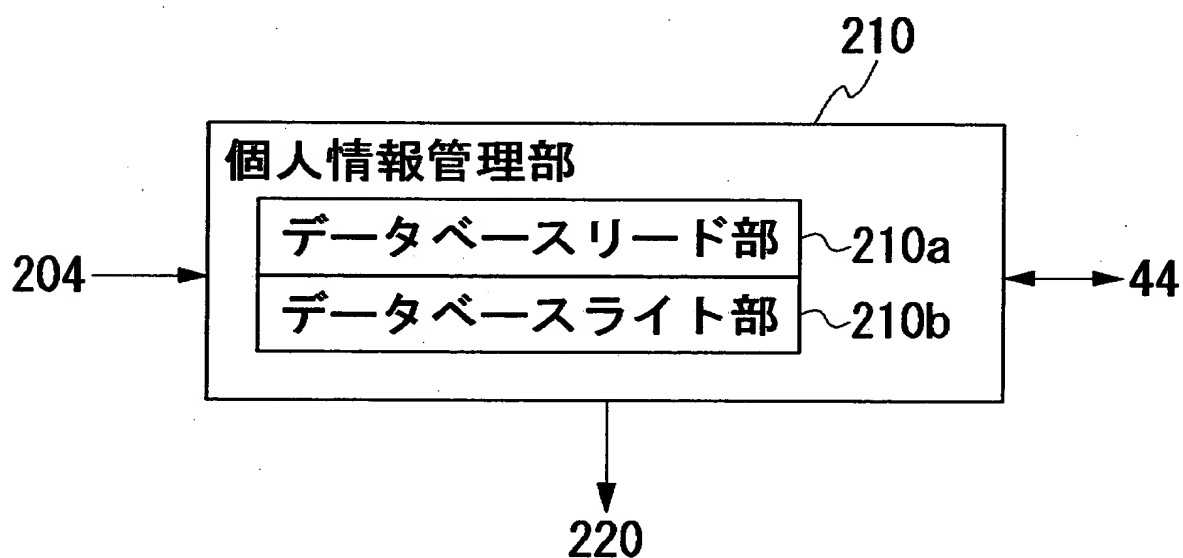
【図9】



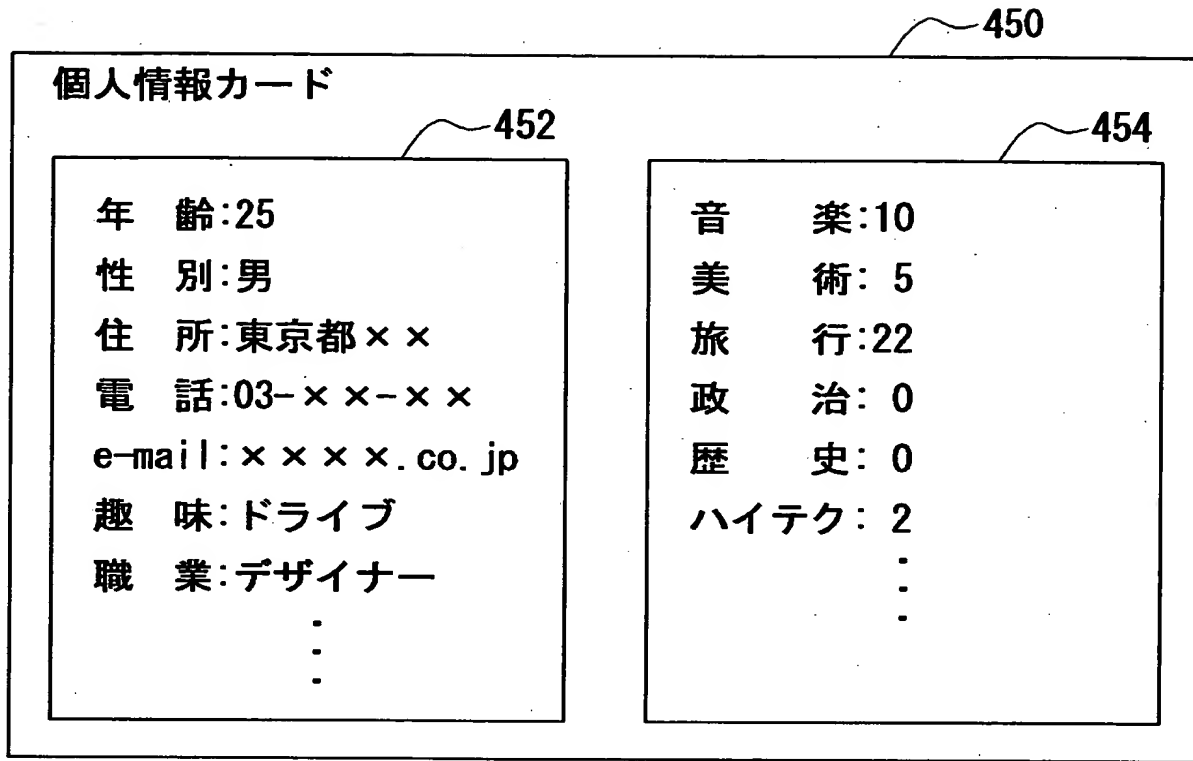
【図10】



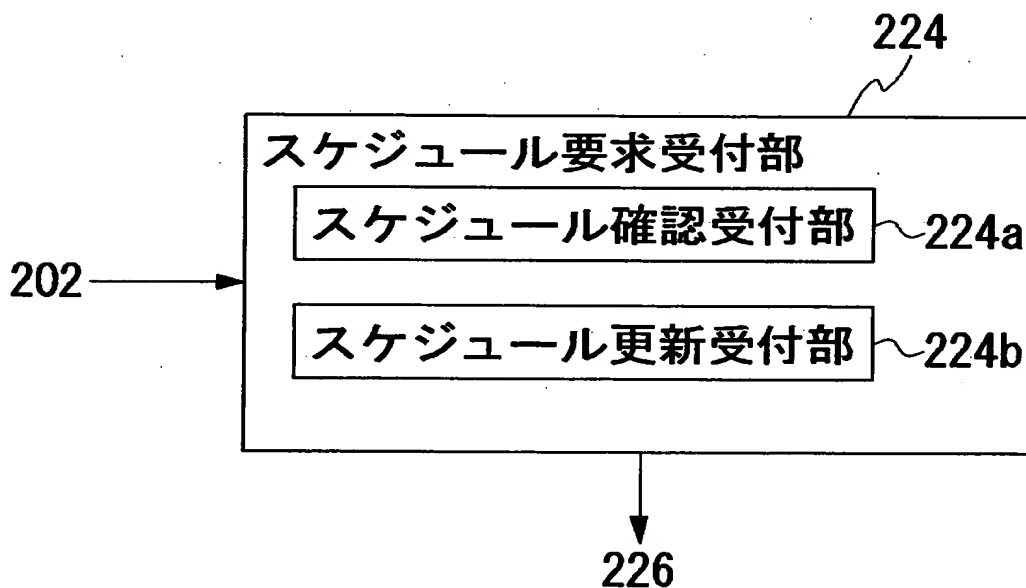
【図11】



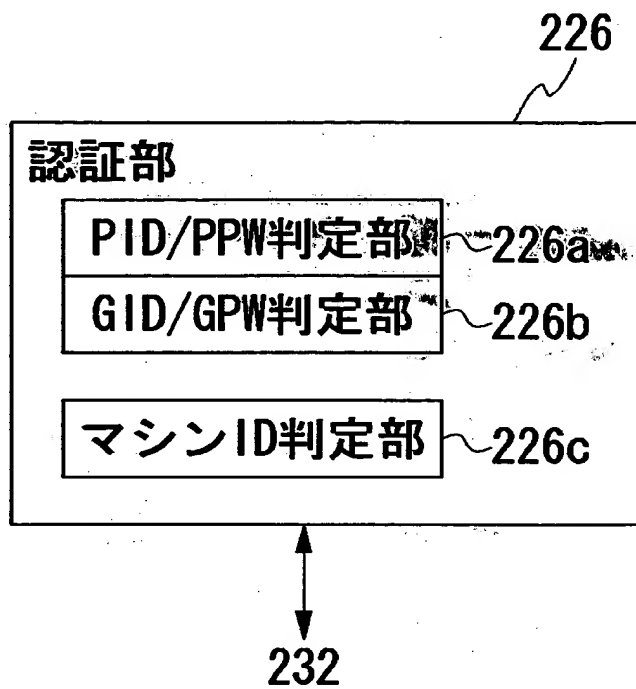
【図12】



【図13】



【図14】



【図15】

460

求人情報

462

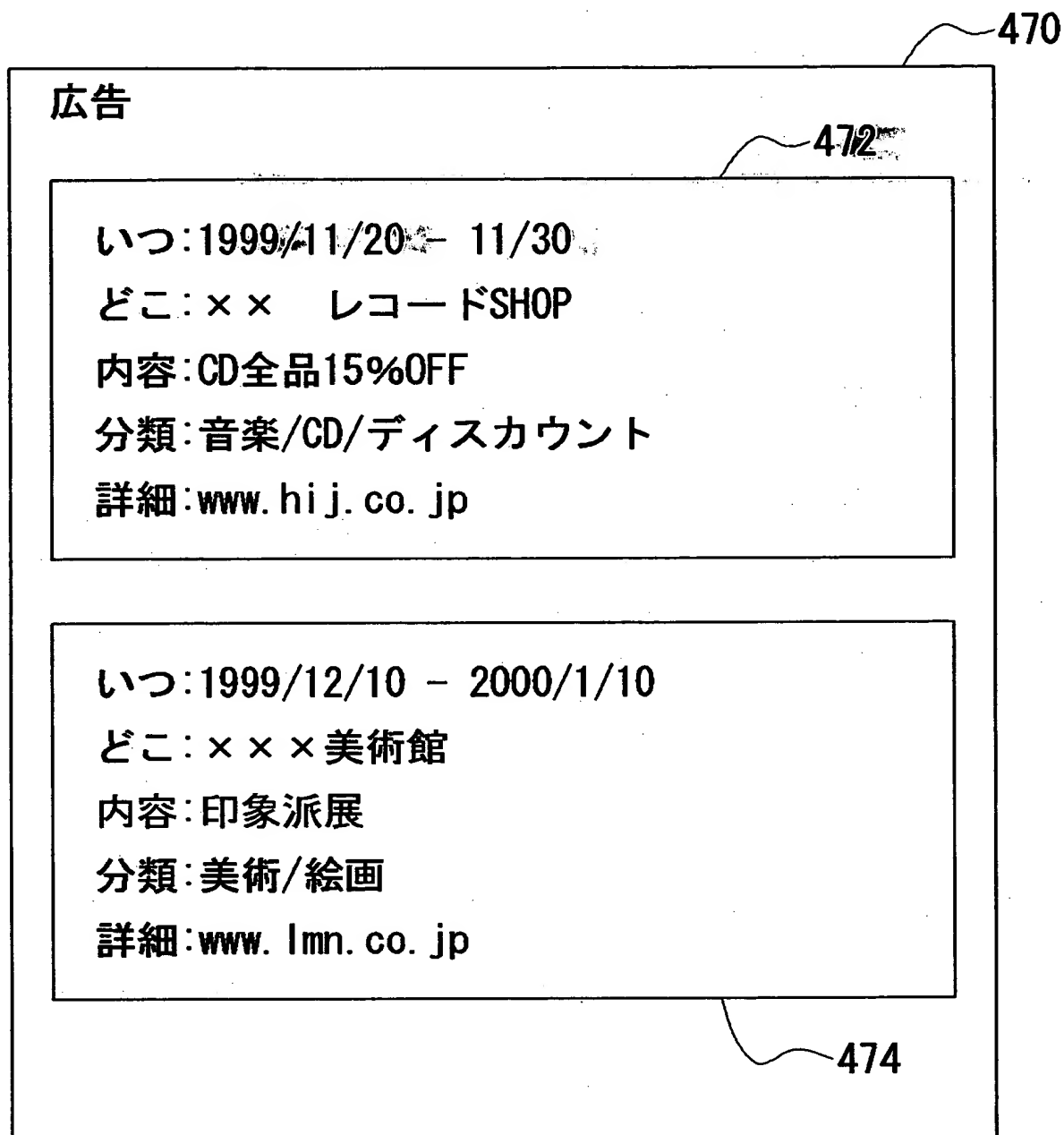
いつ:1999年11月27日 am10~pm1
どこ:×××
内容:コンサートチケット購入のための人員
給与:××××円
分類:音楽/アルバイト
詳細:www.abc.co.jp

いつ:1999年12月~
どこ:横浜市××
内容:PC設計
給与:月××万円
分類:ハイテク/PC/正社員
詳細:www.def.co.jp

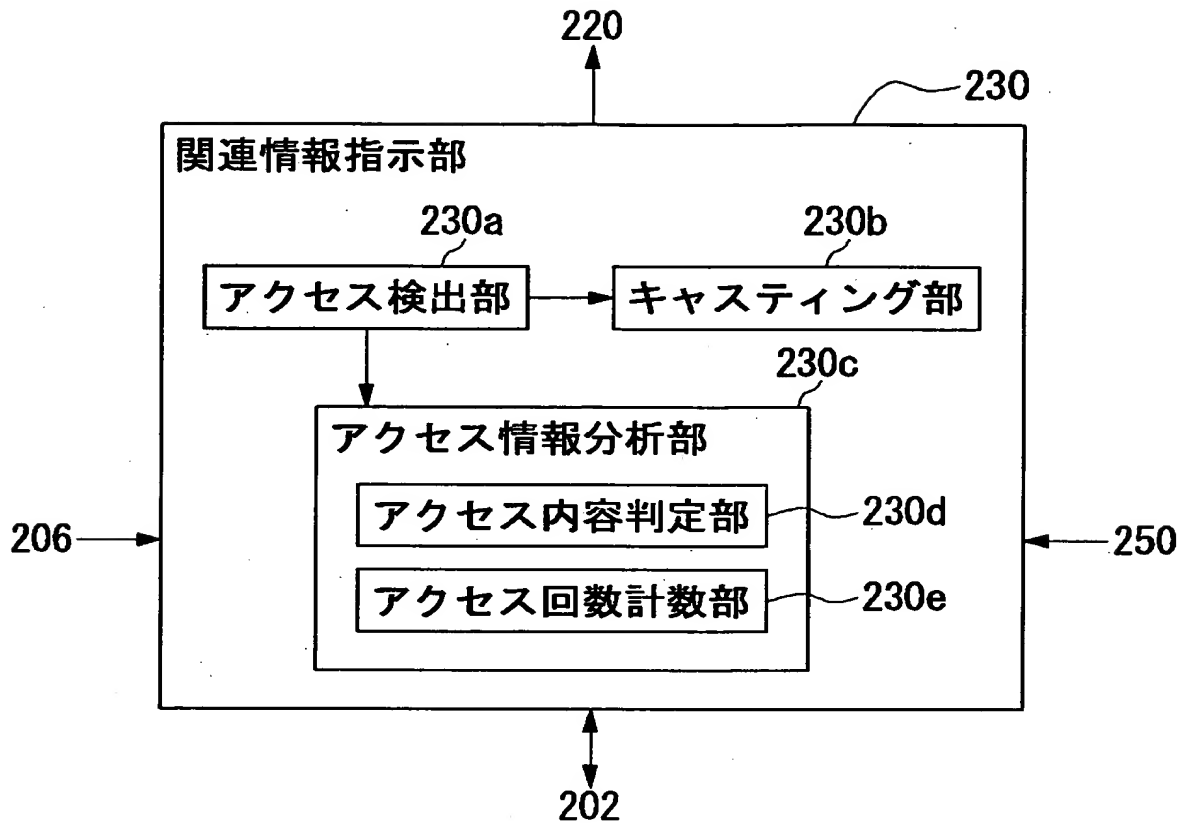
⋮

464

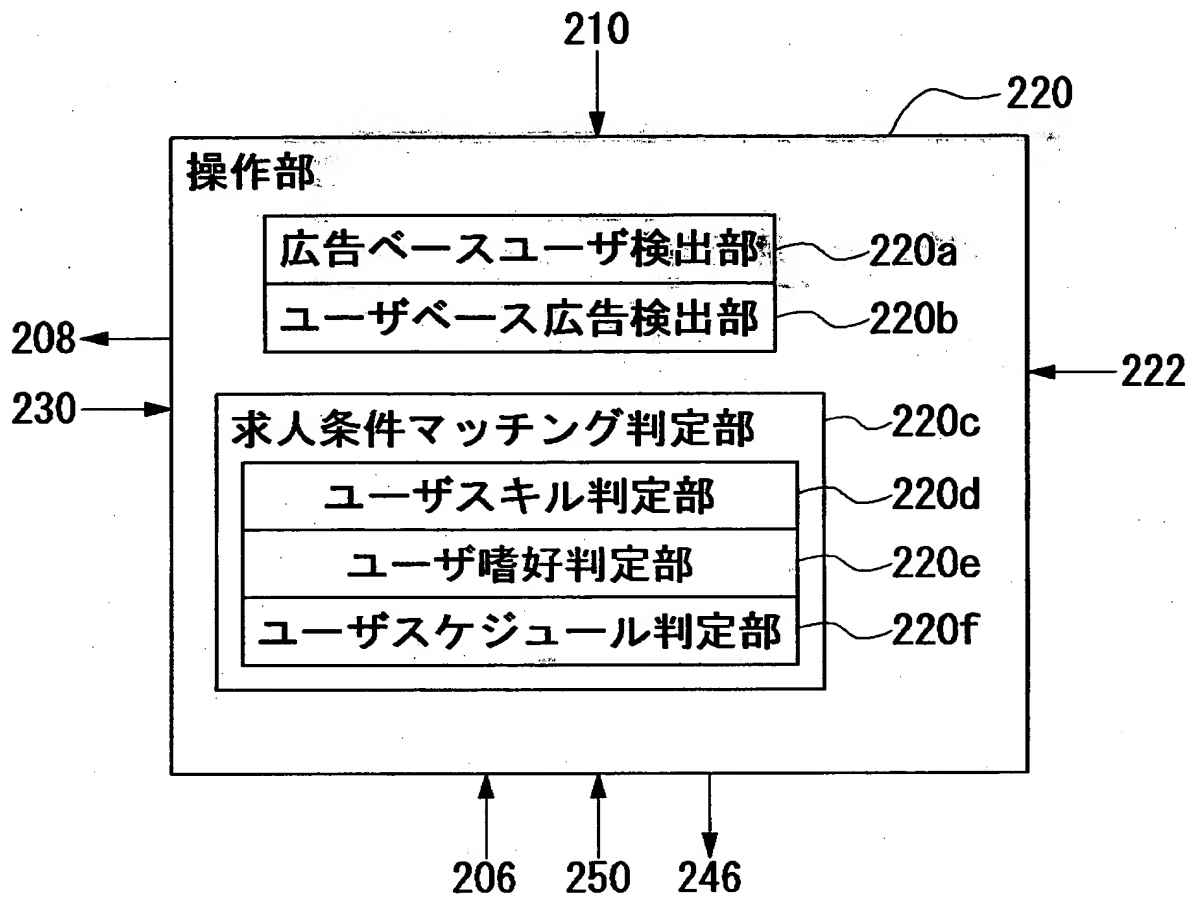
【図16】



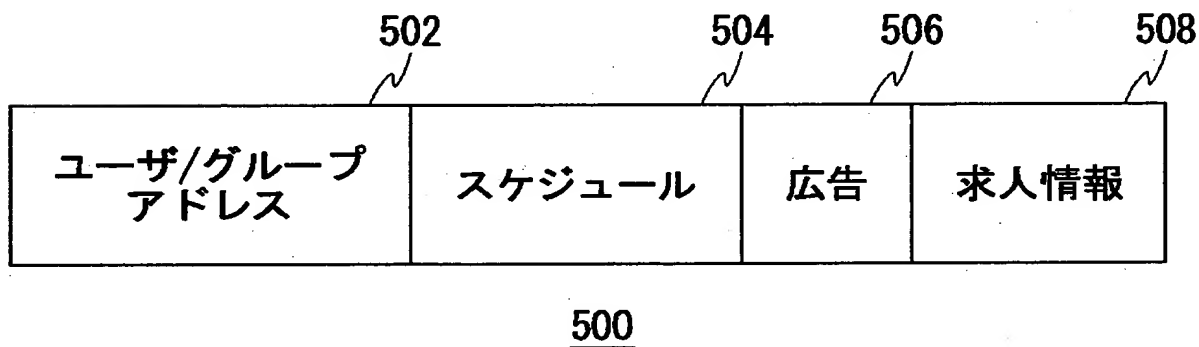
【図17】



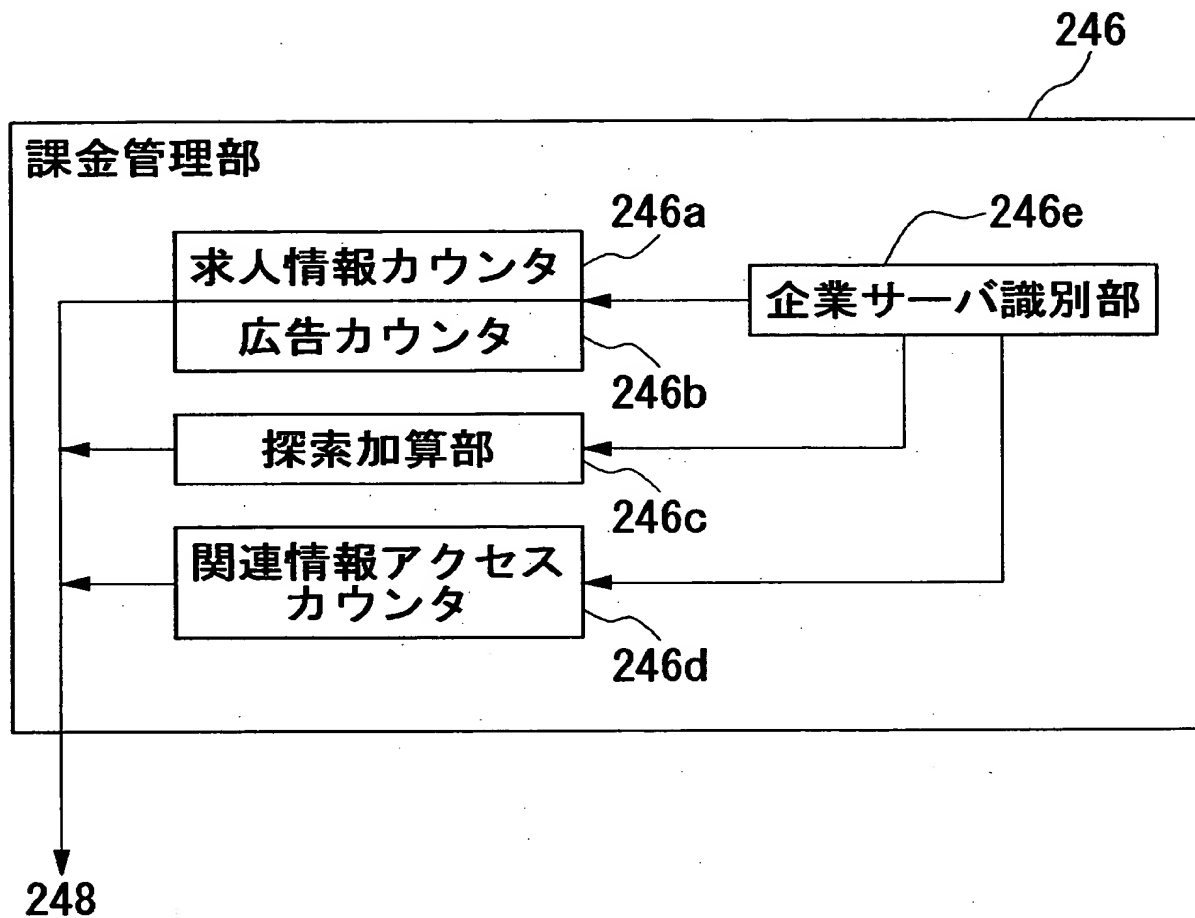
【図 18】



【図 19】



【図20】



【図21】

300

http://www.abcdefg.co.jp

ID登録 設定 スケジュール

IDとパスワードを入力して下さい

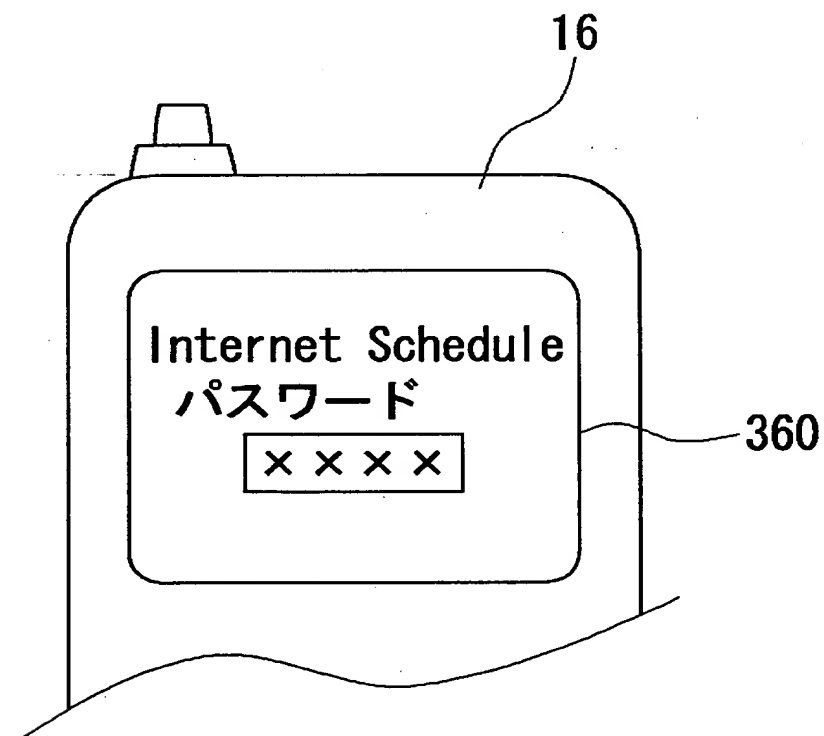
個人 グループ

PID= GID=

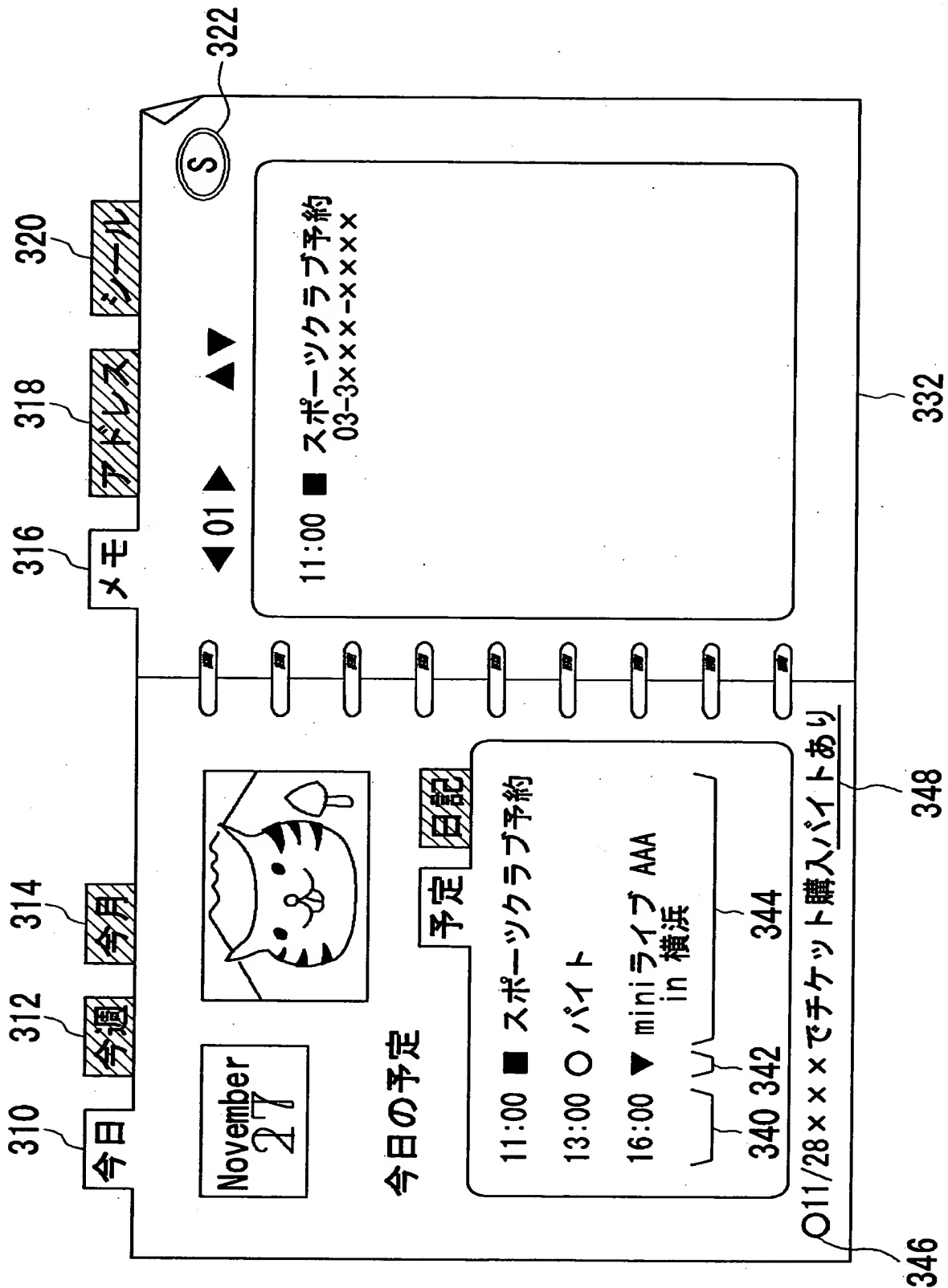
PPW= GPW=

302

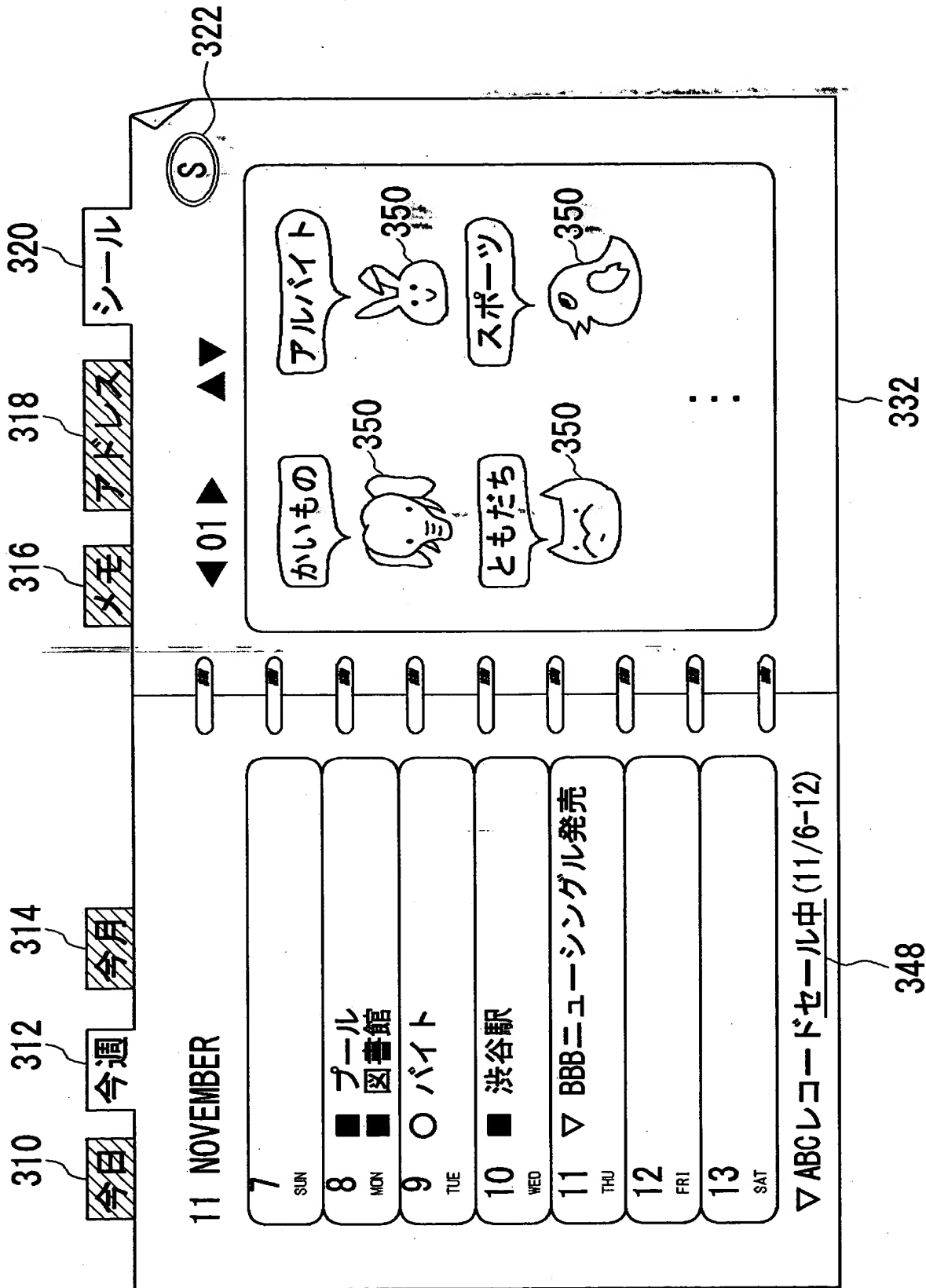
【図22】



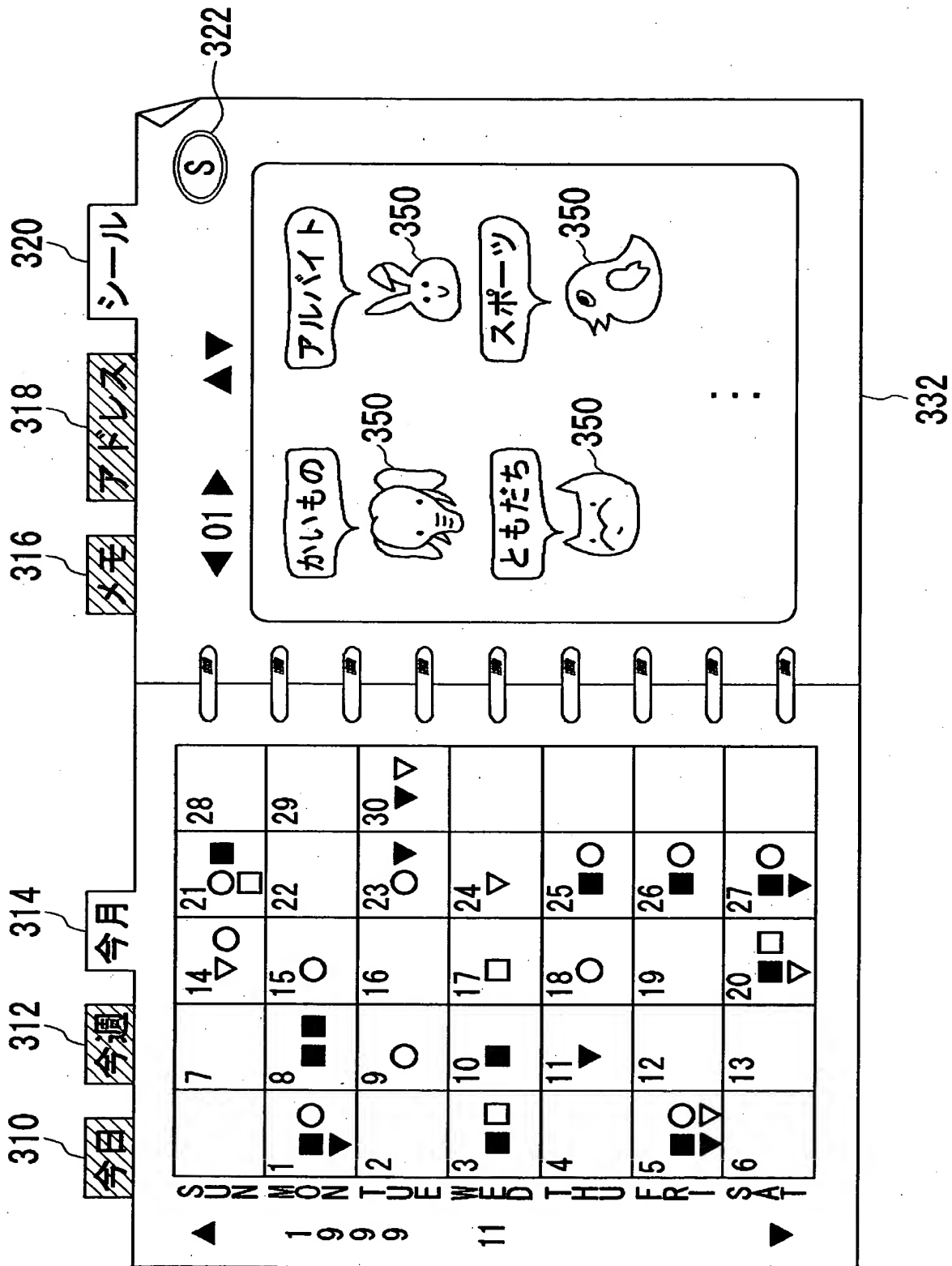
【図 23】



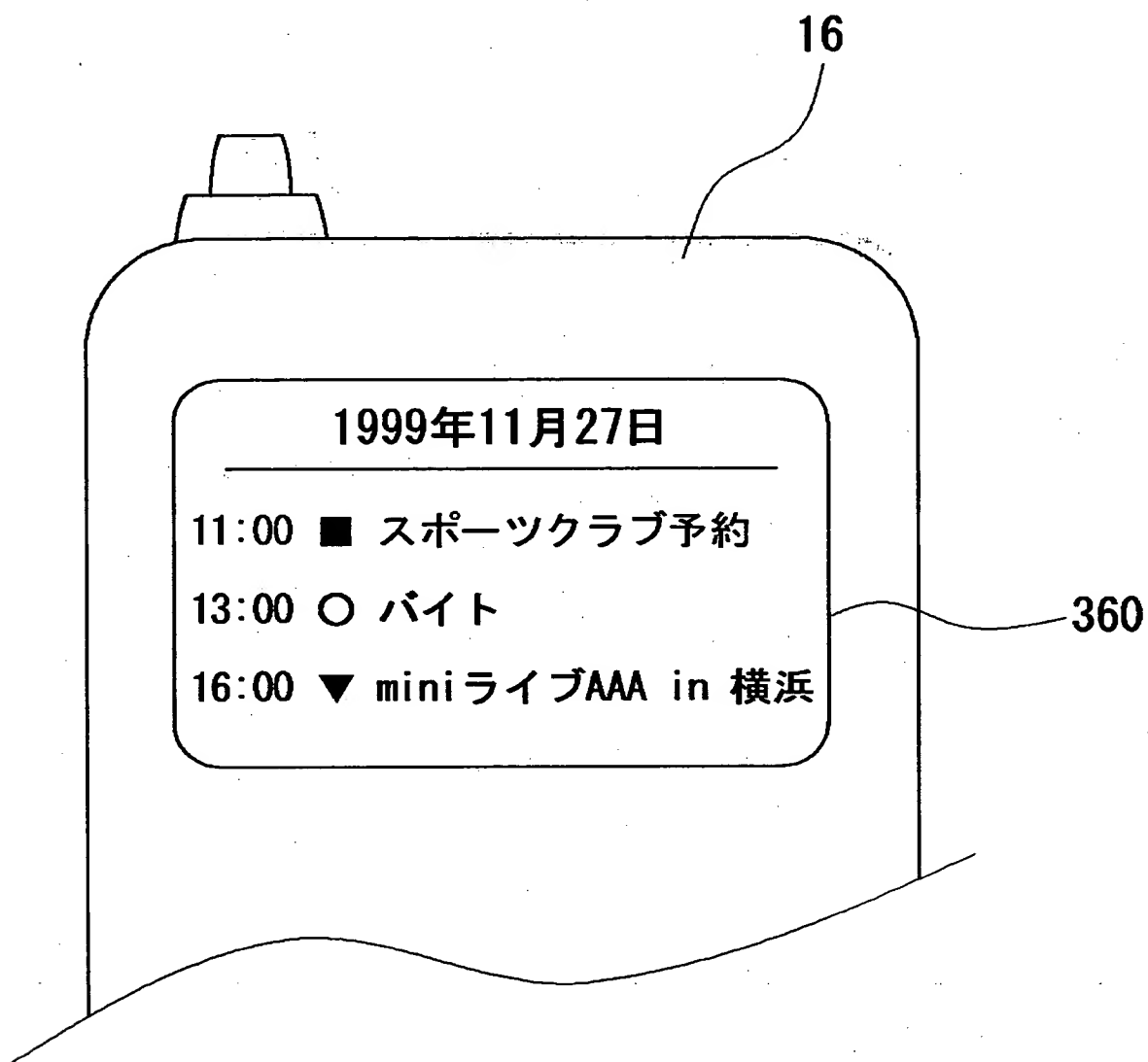
【図24】



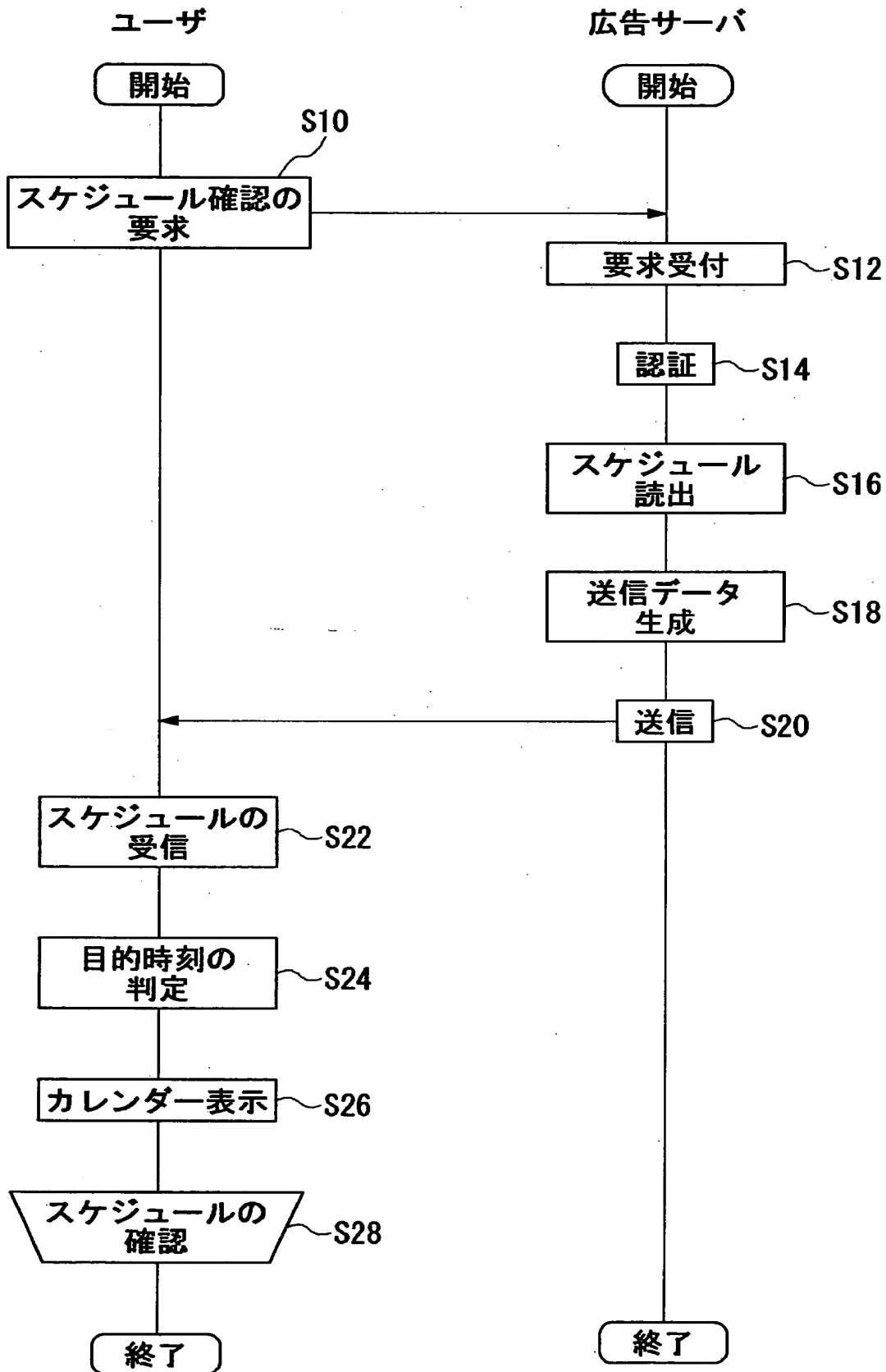
【図 25】



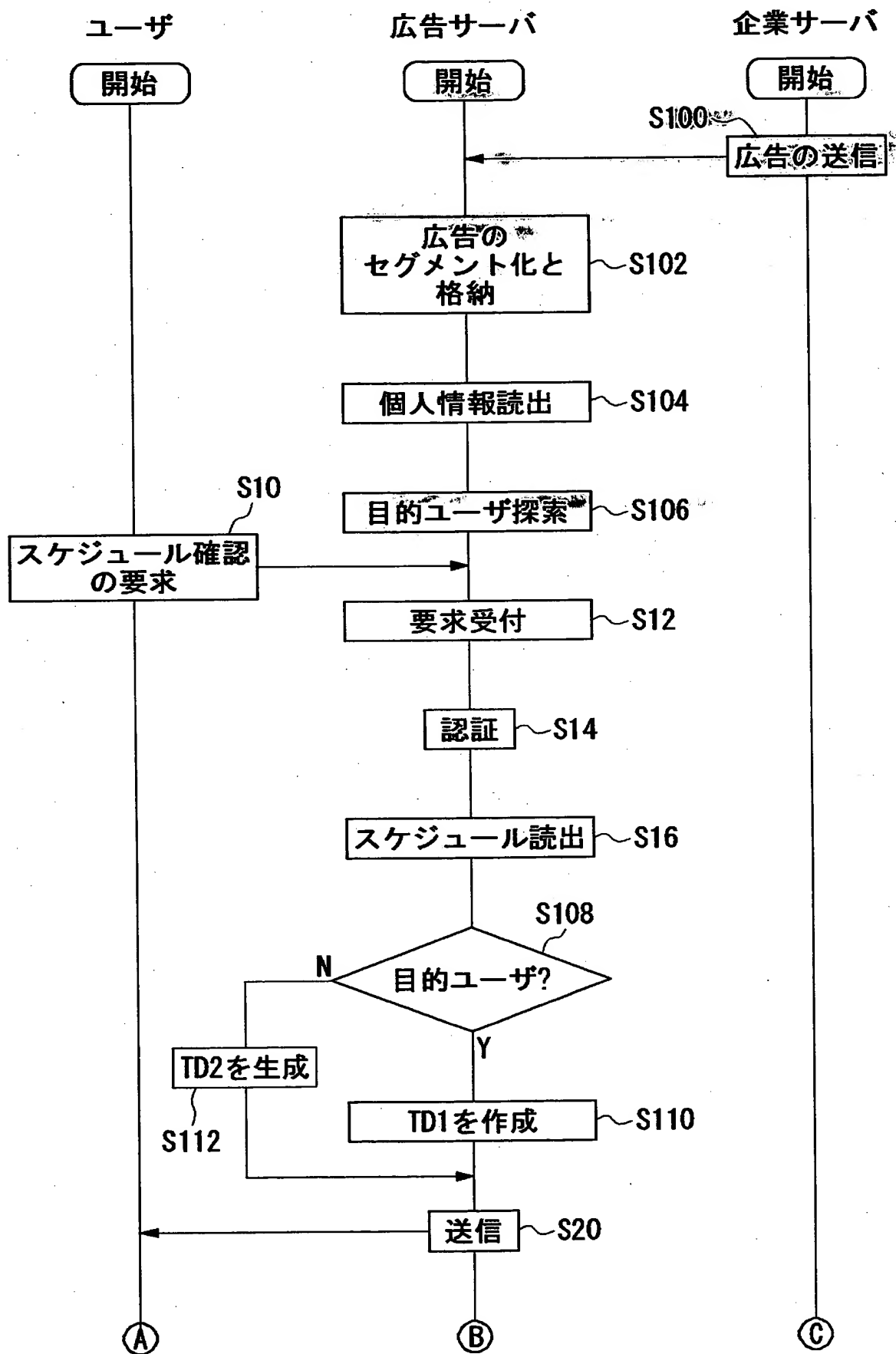
【図26】



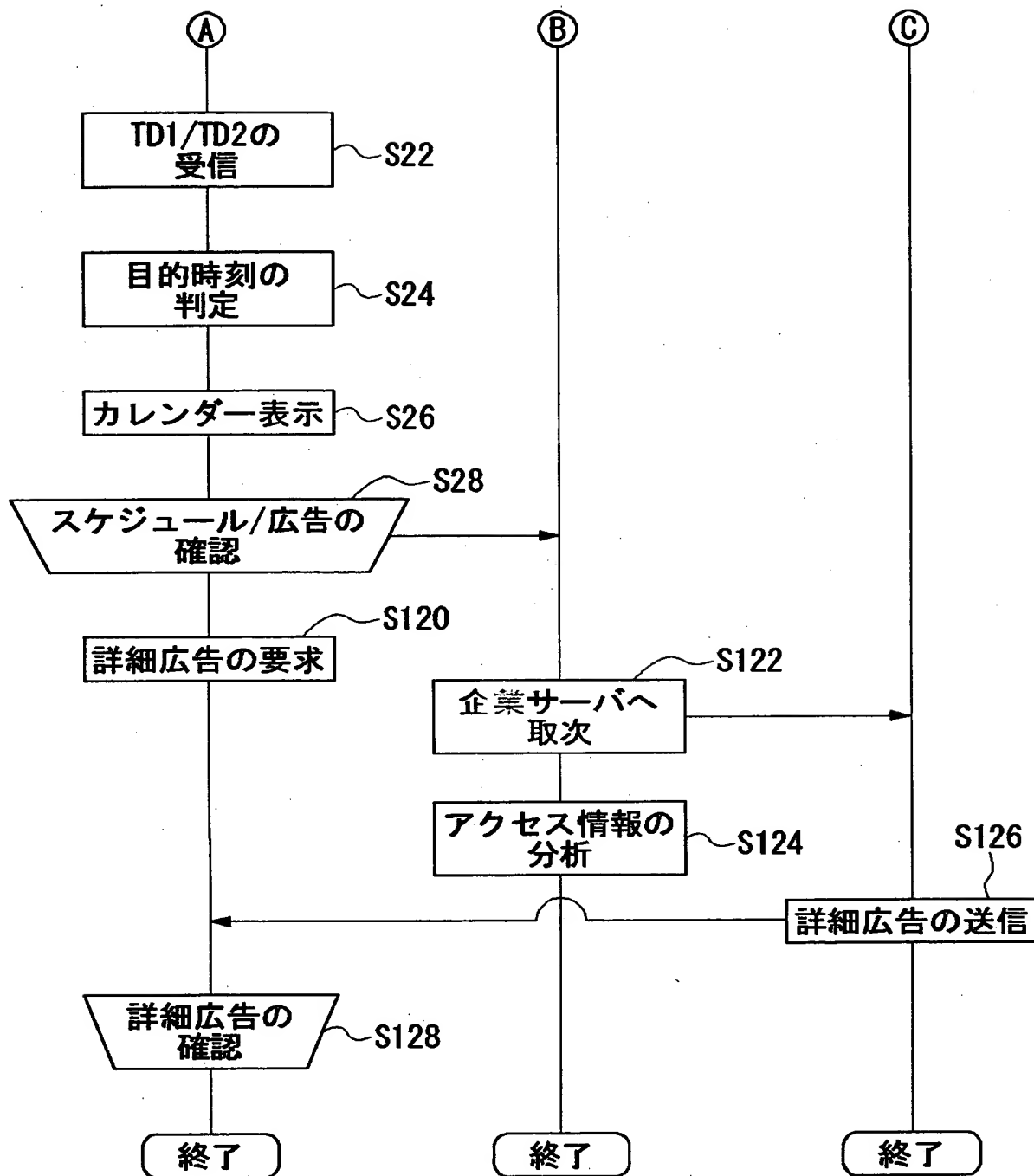
【図 27】



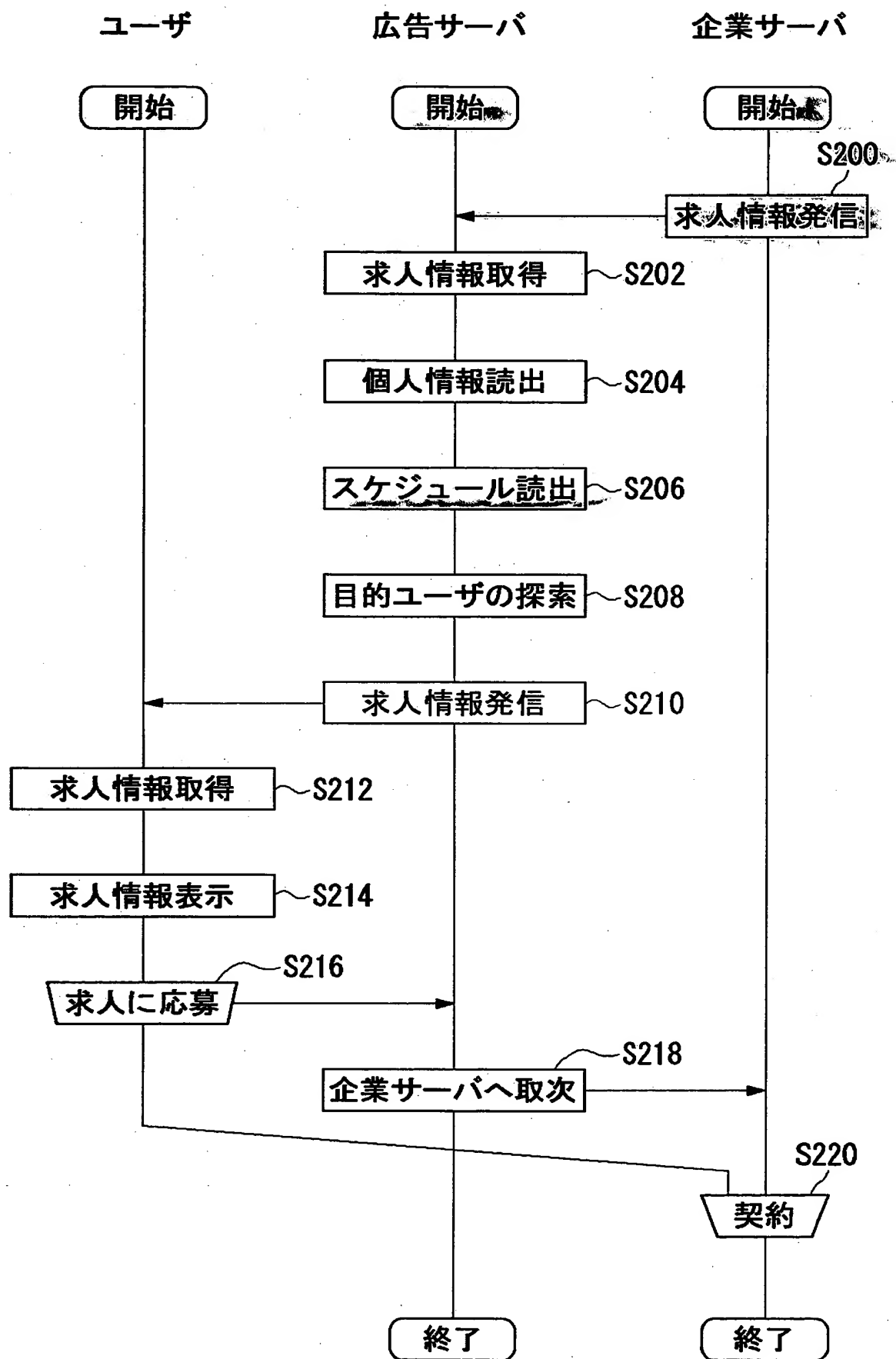
【図28】



【図 29】



【図30】



特2000-126884

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネットを通じて不特定多数のユーザに広告を発信しても、効率的でなかった。

【解決手段】 スケジュール通信システム10はクライアント側のスケジュール通信装置14とサーバ側のスケジュール通信装置38を有する。サーバ側のスケジュール通信装置38は、ユーザにスケジュールと、ユーザの嗜好に沿う広告を送信する。クライアント側のスケジュール通信装置14は、スケジュールと広告を受信する。広告はその目的時刻を軸にスケジュールの中に組み込まれた状態でユーザに告知される。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [599160158]

1. 変更年月日 1999年11月12日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区麻布十番1丁目7番3号

氏 名 株式会社ビートゥーシー・インタフェイス

THIS PAGE BLANK (USPTO)